

魚沼市行政評価 施策評価 実施結果報告書

令和5年度実施施策

【第二次魚沼市総合計画 後期基本計画 主要施策を構成する施策】

令和6年9月



魚 沼 市

目次

I 施策評価の実施にあたって

1 はじめに	1
2 施策評価の概要	2
3 施策評価の方法	6
4 一次評価及び二次評価の結果	8
5 外部評価の結果	14

II 評価結果総括

1 評価結果の概要	26
2 行政評価における今後の取組	28
3 評価結果の活用方法	28

I 施策評価の実施にあたって

1 はじめに

行政評価制度は、行政コストの削減、職員の意識改革、成果重視の行政サービスの確立など、地方行政改革を推進するための有効な手法であり、限られた行政経営資源の中にあって、的確な配分を行いながら、行政が行っている様々な活動が市民の役に立っているかを絶えず点検し改善を図っていく仕組みです。

本市においては、評価作業を通じて従来までの事業プロセスや実行方法を見直すことにより、職員一人ひとりが自己の担当業務への意識を高め、その結果として全庁的な行財政改革や市民サービスの向上につなげていくことを目的として行政評価を実施しています。

本市におけるこれまでの行政評価の取組としては、平成 18 年度に事務事業を評価対象として試行的に実施し、その後、職員研修や先進地事例等の調査研究を経て、平成 21 年度に総合計画前期基本計画第 2 期実施計画に登載している事業のうち 55 事業を対象として本格導入しました。2 年目の平成 22 年度においても同様に 55 事業を対象として行政評価を実施し、平成 23 年度からは、総合計画後期基本計画第 1 期実施計画に登載している事業全てを対象として実施してきました。

平成 28 年度から第二次総合計画がスタートしたことを契機として、これまでの事務事業評価よりも一階層上の施策評価を事務事業評価に加え実施することとし、併せて、透明性及び客観性を確保することを目的として、平成 29 年度からは総合計画審議会による外部評価も実施しています。

本報告書は、令和 5 年度に実施した 62 施策の一次評価から二次評価までの結果とそこから抽出した 12 施策について外部評価の結果をとりまとめたものです。

2 施策評価の概要

第二次魚沼市総合計画後期基本計画における政策を構成する 62 施策を対象としています。

分野	基本目標	政策	施策	別冊 ページ
【第1節】 生活基盤	安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	安心で便利な生活基盤の整備	道路網の整備	1
			道路機能の維持向上	4
			ライフラインの維持向上	7
		快適な暮らしを支える生活環境の整備	公共交通の持続可能な地域交通網の推進	10
			情報通信基盤の整備と活用	13
			住環境の整備	16
		暮らしを守る防災体制の整備	自助・共助・公助の仕組みの充実	19
			自助・共助を支える支援体制の強化	22
			防災基盤の強化	25
【第2節】 環境衛生・自然	豊かな自然と人が共生するまちづくり	豊かな自然の保全と育成	豊かな自然と美しい景観の保全	28
			森林と里山の再生	31
			野生鳥獣との共生	34
		自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	自然環境を活用した地域づくりの推進	37
			森林資源の利活用の推進	40
		自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	環境教育と環境学習の推進	43
			市民協働による環境保全活動の推進	46
		循環型社会環境の整備	ごみの減量化とリサイクルの推進	49
			地球温暖化対策の推進	52
			公害の抑制と生活環境の保全	55

分野	基本目標	政策	施策	別冊 ページ
【第3節】 健康・福祉	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	健康づくりの推進	58
			疾病予防と重症化防止対策の推進	61
		安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	子育て支援	64
			子育て環境の充実	68
		市民が安心して暮らせる仕組みの構築	すべての市民が自立できる環境の構築	71
			安心して暮らせる公共空間の整備	74
		高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	暮らしの支援体制の推進	77
			高齢者の社会参加の推進	80
		誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	健康管理システムの充実	83
			医療資源の育成	86
【第4節】 産業	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	地域資源の活用による産業の振興	新たな特産品づくり、ブランド化の推進	89
			新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	92
		魅力ある農林業の振興	力強い農業経営の構築と地域農業の活性化	95
			森林・里山を活用した地域の活性化	98
		商工観光業の競争力強化	競争力強化に向けた商工業者への支援	101
			地域資源を最大限に活かした観光の振興	104
		雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	起業の促進	107
			定住人口確保のための取組の強化	110
			戦略的な人財確保・企業誘致の推進	113

分野	基本目標	政策	施策	別冊 ページ		
【第5節】 教育・文化	私たちが育む学 びのまちづくり	生涯学び続ける仕組みの 充実	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生 かす仕組みの充実	116		
			生涯学習推進体制の充実	119		
			効率的・効果的な施設運営	122		
		乳幼児期の教育の充実	明るくのびのびとした子育て	125		
			乳幼児教育の仕組みづくり	128		
			子育て環境の整備	131		
		市民が参加する学校づく りの推進	自然や文化を活用し生きる力を育む教 育の推進	134		
			市民が参加し世代を越えて交流する 地域に開かれた学校づくり	137		
			安全・安心な学校施設の整備	140		
		潤いのある地域文化や芸 術の振興と創造	芸術・文化活動の促進	143		
			地域文化の振興と発信	146		
			文化財の保護と活用	149		
		楽しく質の高いスポーツ・ レクリエーションの振興	誰でも楽しく健康づくりができる活動の 推進	152		
			スポーツ活動推進のための体制強化	155		
			スポーツにおける広域連携の推進	158		
		【第6節】 市民協働・自治 体運営	市民の想いを活 かした未来へつ なぐまちづくり	市民参画と行政との協働 の推進	まちづくりへの市民参画の推進	161
					協働体制の充実	164
				市民参画による地域づく りの推進	支え合う地域づくりの支援	167
地域づくりの活性化	170					
地域づくりに向けた移住・定住の促進	173					
市民に信頼される開かれ た行政運営	効率的で効果的な行政運営			176		
	わかりやすい行政情報の発信と職員 の能力向上			179		
選択と集中による財政運 営	行政改革の継続とデジタル化の推進			182		
	健全な財政運営			185		

■評価のサイクル

事前評価は、予算編成に先立つ令和4年度9月から10月にかけて計画策定と同時に、事後評価は、一次評価及び二次評価について、事業が完了した後の令和6年5月から7月にかけて実施しました。

以下に示すスケジュール表のとおり、事前評価から事後評価までの1つの評価サイクルが完結するまでにおよそ24か月を要することとなります。

■令和5年度実施施策の評価スケジュール

【令和4年度】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
担当課		事前評価実施		予算編成				
行政評価会議						事前評価結果報告		

【令和5年度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
担当課	事業実施	事業実施	事業実施									
行政評価会議												

【令和6年度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
担当課		一次評価実施				
行政評価会議			二次評価実施		事後評価結果報告書作	庁議報告
総合計画審議会				外部評価実施		HP等により公表

3 施策評価の方法

■一次評価及び二次評価の方法（内部評価）

施策評価では、施策担当部署において、施策を構成する事業の事業費、取組内容や評価、成果指標の達成状況、施策目的に向かってどのような成果があったのかなど、各施策に対する前年度の状況について記載しました。

施策に対する評価については、一次評価（施策担当部署評価）及び二次評価（行政評価会議^{*1}評価）とともに、「施策成果の達成度」「貢献度」の2つの観点から「観点評価」を行った後、それらを含めた「総合評価」を行いました。また、「課題」及び「今後の方向性」では記述式で評価を行いました。

◆評価項目と評価の内容

評価項目	評価内容
観点評価	<p>施策評価では、施策を構成する事務事業の達成状況や貢献度などを見ながら、「施策成果の達成度」「貢献度」の2つの観点から各施策の評価を4段階で行いました。</p> <p>【観点評価】 ア「施策成果の達成度」の観点 施策及び成果指標について、どの程度達成できたかという観点から評価を行いました。 イ「貢献度」の観点 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当か、当該施策の成果が「施策目的」に明確に貢献しているかという観点から評価を行いました。</p> <p>【評価基準】 高 い・・・十分な施策の展開が図られた やや高い・・・おおむね施策の展開が図られた やや低い・・・あまり施策の展開が図られなかった 低 い・・・まったく施策の展開が図られなかった</p>
総合評価	<p>設定した成果指標を達成できるかを念頭に置きながら、総合評価について、最も適当であると判断するものを、次の3段階から選択しました。</p> <p>現状維持・・・細かな見直しを行いながら引き続き取組を進める 拡 充・・・新たな事務事業の追加や予算等の投入などを行う 改善・見直し・・・施策目的達成のために事務事業の見直し、改善を行う</p>
課 題	<p>施策目的の達成に向けて現在発生している問題を整理し、それを解決するためにすべきことを記述しました。</p>
今後の方向性	<p>今後の当該施策実施の方向性について記述しました。</p>

^{*1} 行政評価会議・・・行政評価会議規程（平成21年訓令第5号）に基づく会議。総務政策部長が主宰し、市の行政評価の推進を図ることを目的とする。会議は、総務政策部長、市民福祉部長、産業経済部長及び教育委員会事務局長で構成する。

■外部評価の方法

平成 28 年度から第二次総合計画がスタートし、平成 29 年度からは市の施策について透明性及び客観性を確保することを目的として、施策評価の外部評価を実施しています。

令和 5 年度実施施策の外部評価は、総合計画審議会から担っていただき、施策の選定にあたっては、施策大綱の 6 分野から各 2 施策を選定しました。

◆選定した外部評価対象施策

分 野	外部評価対象施策	担当課	関係課
生活基盤	道路機能の維持向上	建設課	—
	自助・共助・公助の仕組みの充実	防災安全課	消防本部総務課
環境衛生・自然	森林資源の利活用の推進	農林整備課	—
	地球温暖化対策の推進	生活環境課	—
健康・福祉	すべての市民が自立できる環境の構築	福祉支援課	介護福祉課
	暮らしの支援体制の推進	介護福祉課	—
産業	力強い農業経営の構築と地域産業の活性化	農政課	農林整備課 学校教育課
	競争力強化に向けた商工業者への支援	商工課	—
教育・文化	子育て環境の整備	子ども課	—
	市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり	学校教育課	生涯学習課
市民協働 ・自治体運営	地域づくりに向けた移住・定住の促進	地域創生課	北部事務所 都市整備課
	行政改革の継続とデジタル化の推進	企画政策課	子ども課 都市整備課

4 一次評価及び二次評価の結果

【第1節 生活基盤】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
道路網の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
道路機能の維持向上	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
ライフラインの維持向上	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
公共交通の持続可能な地域交通網の推進	一次評価	高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
情報通信基盤の整備と活用	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	拡充
住環境の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自助・共助・公助の仕組みの充実	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自助・共助を支える支援体制の強化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
防災基盤の強化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第2節 環境衛生・自然】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
豊かな自然と美しい景観の保全	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
森林と里山の再生	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
野生鳥獣との共生	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自然環境を活用した地域づくりの推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
森林資源の利活用の推進	一次評価	低い	やや高い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃
環境教育と環境学習の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
市民協働による環境保全活動の推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
ごみの減量化とリサイクルの推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地球温暖化対策の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
公害の抑制と生活環境の保全	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第3節 健康・福祉】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
健康づくりの推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
疾病予防と重症化防止対策の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て環境の充実	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
すべての市民が自立できる環境の構築	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
安心して暮らせる公共空間の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
暮らしの支援体制の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
高齢者の社会参加の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
健康管理システムの充実	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
医療資源の育成	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第4節 産業】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
新たな特産品づくり、ブランド化の推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	改善・見直し
力強い農業経営の構築と地域農業の活性化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	改善・見直し
森林・里山を活用した地域の活性化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
競争力強化に向けた商工業者への支援	一次評価	やや高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
地域資源を最大限に活かした観光の振興	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
起業の促進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
定住人口確保のための取組の強化	一次評価	やや高い	高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
戦略的な人財確保・企業誘致の推進	一次評価	高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	高い	〃

【第5節 教育・文化】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実	一次評価	低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	改善・見直し
生涯学習推進体制の充実	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
効率的・効果的な施設運営	一次評価	やや低い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	改善・見直し
明るくのびのびとした子育て	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
乳幼児教育の仕組みづくり	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て環境の整備	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
安全・安心な学校施設の整備	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
芸術・文化活動の促進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃
地域文化の振興と発信	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
文化財の保護と活用	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
スポーツ活動推進のための体制強化	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
スポーツにおける広域連携の推進	一次評価	やや低い	やや低い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃

【第6節 市民協働・自治体運営】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
まちづくりへの市民参画の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
協働体制の充実	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
支え合う地域づくりの支援	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域づくりの活性化	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域づくりに向けた移住・定住の促進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
効率的で効果的な行政運営	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
わかりやすい行政情報の発信と職員 の能力向上	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
行政改革の継続とデジタル化の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	拡充
健全な財政運営	一次評価	高い	高い	現状継続
	二次評価	〃	〃	〃

5 外部評価の結果

外部評価は、総合計画審議会から2班体制に分かれていただき、1班6施策、合計12施策の評価を行いました。各施策の総合評価について、二次評価までと同様に3段階で評価し、評価の理由や施策に対する意見等を筆記式で評価しました。

(1) 施策に対する評価結果

第1節 生活基盤

道路機能の維持向上

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○生活道路の整備や道路関連の維持管理、更新には莫大な予算が必要であり、計画的に進めることが不可欠だ。当初設定した事業規模に見合う施策を確実に実行することが肝要である。そのうえで、その時々状況に応じた課題解決のための具体的な事業の検討、実行は重要であると考え</p> <p>○道路機能の維持向上や冬季間の機械除雪、融雪は、本当に市民生活に欠かせないインフラだと思うが、予算にも限りがあるので、緊急度や受益者を見ながら、効果的・効率的にやる必要があると思う。</p> <p>○高齢化社会は待ったなしに進んでいると思うので、ユニバーサルデザイン化やバリアフリー化を進めつつ、引き続き社会資本の老朽化対策、長寿命化にも取り組んでもらいたいと思う。</p> <p>○課題にも記されているように機械除雪オペレータの高齢化が進み、担い手不足が大きな問題となっている。除雪作業は土日祝日に関係なくあるため、若年労働者から敬遠されがちである。そのような現状をふまえ、今後は除雪作業の必要性や重要性をさらにPRするとともに、労働環境を改善しやすい施策を行い、若年オペレータが増えていくような取組もお願いしたい。</p> <p>○当地特有の事情に起因するかもしれないが、消雪施設に関する活動指標が目立つ。ゲリラ豪雨等不測の事態への対応策の検討も今後必要と考える。</p> <p>○機械除雪オペレータの高齢化、担い手不足に対する対応策として免許取得のための費用補助等に対応しており、一定の評価に値する。</p>

自助・共助・公助の仕組みの充実

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○消防団確保のための具体的な対策が必要と思う。</p> <p>○評価は担当課のみであり、今後、消防団も含め評価すべきと思う。</p> <p>○人口が減少していく中で、防災に関する自助・共助・公助に関する取り組みは重要であると思う。</p> <p>○防災連携協定の締結数に関しては、令和3年度から動きがみられないので、目標達成のための計画の見直しや努力が必要のように思う。</p> <p>○火災に関しては、南本町での火災時にみえた自助、共助、公助の課題があれば、ぜひ今後に反映し、活かしていただきたい。</p> <p>○火事だけでなく、いろいろな災害が起こる中で、消防団管理運営事業は引き続き力を入れて進めていただきたい。</p>

第2節 環境衛生・自然

森林資源の利活用の推進

一次評価：改善・見直し／二次評価：改善・見直し

<p>総合評価</p>	<p>改善・見直し</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○成果指標の達成状況から森林資源の利用量が年々減少しているという観点から改善・見直しと判断した。 ○地産地消を促すのであれば、さらに力を入れてPRしないと成果が出ないと思う。 ○カーボンオフセット、クレジットについて、さらに取り組んだほうがよいと思う。 ○森林整備や里山整備は、近年問題になっている熊、害獣対策のためにも大変重要と思う。その施策と絡めて、この事業も推進していけばよいと考える。 ○成果指標は、森林資源の利用量だけではなく、販売金額や販売数量で設定するのも良いのではないかと感じた。 ○建物の材料とする等、大規模に材料を必要とする場合は、市が大いに関わり、後押しをする必要がある。その点について、今後も研究・検討が必要と感じた。 ○森林資源は林業という産業面からは成り立たなくなり、涵養能力やCO₂の吸収機能など環境面での期待が大きいもの変わった。利用量という視点でなく、別の指標を設定するなど時代に合った施策を期待する。 ○成果指標である森林資源の利用量や地元産木材使用量が減少しているため、要因を検証し、実績が上向くような事務事業の見直し等が必要と考える。特に、「市外に向けたPRや販路拡大」が課題であれば、その取組に力を入れることも有効であると思う。 ○森林の少ない関係都市、民間、市民等をもっと巻き込み、関係人口を増やし、いろいろな利用を積み上げていくと良いのではないかと。需要があれば供給もあり産業も生まれていく。

地球温暖化対策の推進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○再生可能エネルギー機器設置件数が目標の62.5%で、達成度評価が「やや高い」は甘いのではないか。</p> <p>○地球温暖化は捉えにくい課題だが、子どもへの教育も含め、地道な活動が必要と思う。</p> <p>○子供に対するエコチャレンジの参加人数の増加や、省エネ対策に関する取組は成果も出ているので、引き続き行っていただきたい。</p> <p>○カーボンニュートラルに関しては、魚沼市の広大な森林資源を活かし、排出量と吸収量の測定や、Jクレジットの強化など、より積極的な取組などを期待する。また、魚沼市としての実態、今後のために市民と一緒に何をしていく必要があるのかの精査、方針があると良い。</p> <p>○「雪の国魚沼」ならではの、雪を活用したエコ事業への取組がみられるとさらに良い。</p> <p>○施策成果の達成度について、エコチャレンジ数が多いことは凄く良いことだと思うが、それをもって「やや高い」と評価するのは疑問である。実績を見た感じでは、達成率は高くなく、改善する必要があるのではという感想である。</p> <p>○この施策は目に見えないもので、着地点や目標が難しいが、CO₂を減らすための手法は国、各県、市町村の共通認識が必要と思う。</p>

第3節 健康・福祉

すべての市民が自立できる環境の構築

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	拡充
評価の理由 ・ 意見等	<ul style="list-style-type: none">○障害者基幹相談支援センターが開設され、障害者の相談窓口は増えたが、相談支援専門員の新規確保がなされていない点や、更なる障害に対する周囲の人の理解を進めるためにもPR活動を充実してほしいため拡充と判断した。○すべての市民が自立できる環境の構築のためにも、教育の充実、支援として職業訓練や生涯学習の機会を提供し、スキルや知識を身につけることで自立を促進できるような施策。また、地域社会との連携を強化することにより、支え合う環境をつくり、ボランティア活動や地域イベントを通して障害者ばかりでなくすべての人が地域社会に参加し相互支援の輪が広がるような施策を期待する。○成果指標を見ると、障害のある人もない人も一緒に生活をしているという意識が、まだ低いように感じる。そういうことを考える施策が欲しい。○障害者に対する偏見をなくすようなPRが大事だと感じる。○住みやすいまち日本一を目指しで、障害のある人も一緒に暮らせるまちを目指すような方向性を持ってもらいたい。○地域における自立や社会参加の実現から考えれば、地域民間企業の障害者雇用に対する取組は十分とは言えない。支援策の拡充等が必要ではないか。○方向性は良いので、事業的に追加して令和5年度成しえなかった事業を追加し、施策目標に近づけていくようにしたらどうか。

暮らしの支援体制の推進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
<p>評価の理由</p> <p>・</p> <p>意見等</p>	<p>○フレイル予防についての教育の必要性を感じている。フレイルについての知識が高まれば、今どのように過ごせばよいのかを考えて行動するきっかけとなり、家に閉じこもりがちな高齢者に明るい希望を与えられると考える。フレイル予防には、地域のお茶の間への参加や男性の場合には近所の友人との関りあいの重要性など、社会参加の機会を与えるものを提案し、また同時に、栄養指導なども並行して実施すると成果が出るのではないかと。それをしっかり体系化し、評価できると次の一手につながるものと考ええる。</p> <p>○介護予防教室などで、興味のある人、やる気のある層はさらに参加していくが、興味のない人や参加してほしい層が来ないことが課題である。</p> <p>○超高齢化社会が進む中、啓発活動をはじめ、連携が強化されるよう引き続きの取組を望む。</p> <p>○体を動かす教室を行なうファシリテーターを今以上に育成し、介護予防の指導ができるような仕組みを構築していかないと、高齢者が多い地域を若者で何とかするのは難しくなってくる。</p> <p>○介護に携わる外国人の増員と生活支援が必要と思う。</p>

第4節 産業

力強い農業経営の構築と地域産業の活性化

一次評価：現状維持／二次評価：改善・見直し

総合評価	改善・見直し
評価の理由 ・ 意見等	<ul style="list-style-type: none">○担い手不足が今後さらに課題となってくると思うので、それを補うために農業に特化したDX化やICT技術の導入の施策なども加えれば、若者も魅力を感じ、農業をやりたいと興味を持ってくれるのではないかと考え、改善・見直しと判断した。○担い手と新規就農者との違いはノウハウなどの成熟度合いがあげられる。新規就農者が成熟し、担い手になり得るまでの事業が必要と感じる。○担い手の実質増加は難しいと感じるが、今後地域計画で描かれた内容に沿って適正管理が可能な作付面積などを明確化する必要がある。○地域計画策定後の令和7年4月には法律が変わり農地契約の方法が変わる。今後、担い手としての成熟を目指す農家がさらに希望をもって成長できるよう、目標地図の追加変更についてのフォローをお願いしたい。○地域計画の策定を受けて見えてきた課題や手だてなどについて、今後検討する必要がある。○地域の特色が見える取組が必要と感じた。○せっかく全国屈指のブランド力を持つコシヒカリやユリが有るのに販売戦略が示されていない。世界の白米を食べる文化圏への積極的な販売を行えば、高付加価値で売れるし減反も必要ない。農業者収入も上がり、魅力的な産業へと変わることも可能である。計画を見直し、官民挙げての取組を期待する。○外国人雇用に関する支援の件を、ぜひ早くに進めてほしい。○持続可能で力強い農業経営の構築を目指し、若者がやりたいと思う農業にするよう育成支援や新規就農者援助に取り組んでいるが、農地利用面積の集積化など大型化によって進められており、兼業農家など色々な形態の農家があると思うので、それらの農家もうまく支援してほしい。○力強い農業経営、つまり収益が実現できるモデルを早期に作らないと農業の担い手は確保できないだろう。

競争力強化に向けた商工業者への支援

一次評価：拡充／二次評価：拡充

総合評価	拡充
<p>評価の理由</p> <p>・</p> <p>意見等</p>	<p>○外国人雇用に関する支援の件を、ぜひ早くに進めていただきたい。</p> <p>○商店街の活性化はポイントなどの短期的なものと並行して街をどうしていくのかという長期的、大局的な視点で対策を打たないと衰退一途ではないかと感じる。</p> <p>○人材育成、能力開発が重要と考える。国の制度、助成金などと併せて取り組んでいただきたい。</p> <p>○働き手の年齢構成は、高齢者が圧倒的に増加しているので、高齢者の活用が重要と感じる</p> <p>○商業においてのにぎわいづくりは商店街の活性化にむけて重要な課題だが、魚沼市の少子高齢化の現状をみると相当厳しい。今、世の中の動きで活発なのは、高齢者やその少し前世代の健康づくりの意識と自分の健康、それを医療と科学をからめた先進的な分野といえる。そのあたりを踏まえ、にぎわい館（仮称）を、定期的に気軽に立ち寄って血圧、活動量チェック（歩数から換算する機器）、体組成（体重、体脂肪、筋肉量など）、オキシパルスメーター（動脈血酸素飽和度）を計測できる魚沼市健康センターのような機能を一部で持たせてはどうか。</p> <p>○どこにどういう目的で予算を充てて行なっていくのか、しっかり検討が必要と感じる。</p>

第5節 教育・文化
子育て環境の整備

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

<p>総合評価</p>	<p>現状維持</p>
<p>評価の理由 ・ 意見等</p>	<p>○子育ての駅かたっくりの利用者数について、令和5年度 36,490人（市内 20,075人、市外 16,415人）とのこと。凄いことだ。市外からの利用があることは利用しやすいからである。「子育てのまち 日本一」を目指すなら、大いに利用してもらえばいいと思う。先々、相乗効果が出てくると思う。さらなるPRをして進めてほしい。期待している。</p> <p>○引き続き、子育ての駅の周知に取り組みつつ、地域内の連携を深めていただきたい。</p> <p>○日本人の体力低下が課題となっている昨今で、子育て環境の整備は大きな役割を果たす。未就学児までの運動体験や自然と触れ合う生活習慣で、少年期の体力の基礎ができていく。自然豊かな魚沼では食も、生活環境も子供の教育には大きな長所となっているのでそれを活かす環境が重要となっていく。ぜひ、子供を育てやすい環境をこれからも整備し推進していただきたい。</p>

市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	拡充
<p>評価の理由</p> <p>・</p> <p>意見等</p>	<p>○コミュニティ・スクールが有効に機能するには、時間と経験が必要との認識は同感できる。現状の学校運営協議会の回数や参集範囲、開催目的等では信頼関係を深めるまでには至らないと感じている。学校、家庭、地域が信頼関係を深めるためには、参集範囲の裾野を広げることや、ざっくばらんに話し合える場の頻度を上げる必要がある。また、コミュニティ・スクール推進員にかわる役割の確立や予算措置も必要である。これらのことから、今後拡充が必要と感じる。</p> <p>○魚沼市は子育て支援が充実している方だと思うが、ボランティアスタッフの確保が課題だと思う。時代の変化により子育ては親だけの責任でなく、地域全体で取り組む課題だという共通認識を持つことが必要であり、そうした気運情勢のため更なる施策の拡充を期待する。</p> <p>○魚沼市の未来を担う子供たちが、「ふるさと」への意識向上、大人になって地元で生活したい、地域活動に参加したいと思ってもらうためにも、コミュニティ・スクール推進委員やコーディネーターを増員し、時間をかけて取り組んで行かなければならない施策であると考えた。学校教職員との連携も重要であり、人事異動もあり制度を定着させるのも困難と聞くが、予算を増やし、地域住民が主体的にこの施策に関わっていけるよう拡充と判断した。</p> <p>○コミュニティ・スクールの充実のため、学校・地域の関連を含める。そのために推進員・コーディネーターに充てる予算を増やし、充実を図るのも策と思う。多数のボランティアと優秀なコーディネーター、それをまとめる事務局があれば、円滑な事業が行われる率がより高くなると思われる。また、ボランティア登録数が増えるような事業を考えて進め、児童・生徒が家族にいない人たちにいかに周知し、求め賛同を得ていくか。まず、この周知されている人たちがまだ狭いのかもしれない。</p> <p>○コミュニティ・スクールの実態がよくわからない。</p> <p>○活動指標は一見充足しているようであるが、活動の検証が不十分ではないか。</p> <p>○教師、地域住民、保護者等の生の声を反映させないと表面的な評価に留まる懸念がある。</p>

第6節 市民協働・自治体運営

地域づくりに向けた移住・定住の促進

一次評価：現状維持／二次評価：現状維持

総合評価	現状維持
評価の理由 ・ 意見等	<p>○移住者の空き家バンク利用が少なく、移住促進とリンクしていない。空き家を魅力的にする施策が必要である。</p> <p>○市は、現在4大学と包括連携を締結している。新潟工科大とは、市、商工会、魚沼市ものづくり振興協議会と、ほぼ毎月、意見交換を実施し、オープンキャンパス、ロボット教室、まちの仕事発見塾、市内企業見学、インターンシップ等の連携事業を毎年継続している。他の3大学との連携事業をしていないのではないかと感じる。名だけの包括連携では意味がないと思う。今後、中身のある包括連携にしていく事業をご検討してほしい。</p> <p>○市内金融機関が中古住宅購入改修支援を行なっている。ぜひ、こういう取組を利用して、連携して一緒に取り組むと良いと思う。</p> <p>○令和6年度から農村文化創生事業が始まるということで、郷人会等との連携もあるようだ。そこと地域おこし協力隊とのリンクがあまり無いと感じている。そことのリンクがうまくいくと、もう少し協力隊の事業の実績も出てくるし、関係人口も出てくると思う。</p> <p>○移住定住の窓口が、もっと相談しやすい窓口としてあるといい。マッチングができる。</p> <p>○他の自治体で、外に行った人同士がつながるコミュニティがある。そういう仲間がつながっているコミュニティがあると、色んな世代で一つずつ色んなコミュニティがあると、より魚沼とつながり、関係人口がつかれるんじゃないかと思う。</p> <p>○空き家は、移住してくる人にとって引っ張ってくる理由になっていないと思う。魅力として空き家が使え、それじゃ魚沼を選ぼうという形になってくれると一番良いと思う。</p> <p>○移住定住で来た人に、最初は「魚沼市によく来てくれた！」と言って欲しい。</p>

行政改革の継続とデジタル化の推進

一次評価：現状維持／二次評価：拡充

総合評価	改善・見直し
<p>評価の理由</p> <p>・</p> <p>意見等</p>	<p>○社会全体が情報化社会を迎えており、魚沼市にもデジタル化の波は大きく押し寄せていると感じる。デジタル人材の育成やペーパーレス化にも取り組んでいるとのことだが、デジタル化は、うまくはまれば利便性向上に繋がるが、情報漏洩を防止するためのセキュリティの問題や高齢者等デジタル弱者を切り捨てないユニバーサルデザインの業務改革も必要である。また、デジタル技術は目まぐるしい進化を遂げている。今後もその流れや変化は加速していくものとする。その流れに後れを取らないためにも、この施策を推進してもらいたいため、改善・見直しと判断した。できれば、費用対効果の検証も併せて行い、情報管理のスピード化などで残業時間の削減等も検討してほしい。</p> <p>○総合行政システム等管理事業については、デジタル化の推進による業務の効率化やコスト削減に寄与するものと思うが、その効果の検証を行うことで拡充か見直しかが初めて検証できる。</p> <p>○デジタル化の技術・進歩のスピードは5年・10年先が見通せないレベルであり、常に改善見直しが必要と判断する。</p> <p>○行政手続きのオンライン化については、今後も目標値に向けた取組をお願いしたい。市の公式 LINE の普及拡大と効率的に利用できる事業が必要であるとを感じる。</p> <p>○デジタル化については、役所は民間に比べ遅れている。</p> <p>○デジタル化のスピードは日進月歩である。デジタル難民の問題は別で考えないと進まないで積極的な取組を望む。</p> <p>○効率・低コストも踏まえたデジタル化と思うが、一般市民対象のものは啓発も行い、なるべくデジタル難民がでないようお願いしたい。</p> <p>○デジタル人材について、所内育成とのことであるが、変化が速い分野であり、思い切って外部人材の採用（スポット採用）などに着手し、スピードを上げて良いのではないかと。</p> <p>○所内の行革を一層進めるならば、例えば「デジタル推進課」など、独立させて非効率業務見直しに横ぐしを刺していくべきではないかと。</p>

II 評価結果総括

1 評価結果の概要

(1) 施策に対する総合評価結果

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（%）	施策数	割合（%）
現状維持	55	88.7%	50	80.6%
拡 充	5	8.1%	6	9.7%
改善・見直し	2	3.2%	6	9.7%
（ 合 計 ）	62	100.0%	62	100.0%

施策に対する総合評価結果について、一次評価では62施策中、「現状維持」が55施策で全体の88.7%を占め、「拡充」が5施策、「改善・見直し」が2施策という結果に対し、二次評価では「現状維持」の割合が80.6%となり、「拡充」が1施策、「改善・見直し」が4施策増加する結果となりました。

(2) 二次評価による総合評価の変更

評価変更の内容	施 策 名	担当課	関係課
現状維持 → 改善・見直し	新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	商工課	農林整備課
現状維持 → 改善・見直し	力強い農業経営の構築と地域産業の活性化	農政課	農林整備課 学校教育課
現状維持 → 改善・見直し	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実	生涯学習課	—
現状維持 → 拡充	情報通信基盤の整備と活用	企画政策課	—
現状維持 → 拡充	行政改革の継続とデジタル化の推進	企画政策課	子ども課 都市整備課
拡充 → 改善・見直し	効率的・効果的な施設運営	生涯学習課	—

行政評価会議による二次評価では、より行政の透明性を高め、効率的で効果的な施策の推進や改善を促すことを意識して評価を行った結果、3つの施策が「現状維持」から「改善・見直し」へ、2つの施策が「現状維持」から「拡充」へ、1つの施策が「拡充」から「改善・見直し」へ変更されました。

直し」へ変更になりました。

(3) 施策に対する評価結果（達成度）

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（%）	施策数	割合（%）
高い	11	17.7%	8	12.9%
やや高い	35	56.5%	34	54.9%
やや低い	14	22.6%	18	29.0%
低い	2	3.2%	2	3.2%
（合計）	62	100.0%	62	100.0%

施策成果の達成度について、一次評価及び二次評価ともに「高い」「やや高い」が全体の約7割を占める結果となりました。

達成度が低くなる傾向は見られたものの、おおむね順調に進捗していると考えます。

(4) 施策に対する評価結果（貢献度）

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（%）	施策数	割合（%）
高い	12	19.4%	13	21.0%
やや高い	49	79.0%	48	77.4%
やや低い	1	1.6%	1	1.6%
低い	0	0.0%	0	0.0%
（合計）	62	100.0%	62	100.0%

貢献度について、一次評価及び二次評価ともに「高い」「やや高い」が全体の9割以上を占める結果となりました。また、「やや高い」だけでも全体の8割近くを占めています。

(5) 課題・今後の方向性

各施策の一次評価、二次評価において、令和7年度実施の施策に向けた検討や改善等の考え方が示されており、現在実施している施策の経過と合わせ、令和7年度事業に反映させることとします。

2 行政評価における今後の取組

行政評価制度は、行政運営・行政経営の仕組みの一つとして重要な役割を担っています。
今後は、効率的・効果的な施策の推進と改善を図っていくとともに、評価結果を公表し、情報を公開することとします。

(1) 令和6年度実施施策の事後評価に向けて

① 改善の取組

今回の評価結果を担当部署に報告し、施策及び施策を構成する事務事業の改善に取り組みます。

② 評価結果の公表

評価結果については、市議会へ報告し、市のホームページ等により公表します。

(2) 令和7年度の実施計画に向けて

施策を構成する事業の追加と削除の検討

今後も効率的、効果的な施策の推進を図るため、今後実施する実施計画のローリング作業において、事務事業の追加や関係性の薄い事業の削除を検討します。

3 評価結果の活用方法

行政評価の結果は、事業担当課において事業実施手法の見直しや改善、目標管理のツールとして活用するとともに、総合計画実施計画の中の進行管理把握のための資料や予算編成資料として活用します。

また、行政評価結果を報告書として取りまとめ、市議会への情報提供、市のホームページへの掲載を行います。

魚沼市行政評価

施策評価 実施結果報告書

(令和5年度実施事業)

発行／魚沼市

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地
TEL 025-792-1000(大代表) FAX 025-792-9500

編集／魚沼市行政評価会議

事務局／総務政策部 企画政策課 企画調整係

[URL] <https://www.city.uonuma.lg.jp/>

[e-mail] kikaku@city.uonuma.lg.jp



令和5年度実施 施策評価結果シート

－ 別冊 －

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G L S	 
-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	産業経済部 建設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関係 課	都市整備課	
施策名	1号 道路網の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域発展や産業の振興を図るため、道路利用者の安全・安心を確保し、かつ利便性の高い道路交通ネットワークの強化に努めるとともに、災害時の孤立や交通の途絶を解消するため、雪や災害に強い道路交通ネットワークの形成を効果的にすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
314		市道整備事業		216,231	193,247	332,632	282,201			やや高い	B
		8 2 2	建設課								
		事業の取組内容	幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワーク強化、道路機能の向上促進等を行う。								
329		都市計画策定事業		0	5,687	7,819	6,878			やや高い	B
		8 4 1	都市整備課								
		事業の取組内容	都市計画マスタープランの更新に向け基礎調査等を行う。								
331		都市再生整備計画事業		2,665	15	3,468	4,237			やや高い	A
		8 4 1	都市整備課								
		事業の取組内容	立地適正化計画に掲げるコンパクトなまちづくりの推進を目指し、都市機能誘導区域に定めた小出市街地等のまちづくりの検討を行う。								
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	道路の整備延長 県・市管理道路のR3～R7の 累計	4,017 (H28～R1累 計)	目標値	1,500	3,000	4,500	6,000	7,500	7,500	m
			実績値	2,607	4,244	5,584				
			達成率	173.8%	141.4%	124.1%	%	%		
2	道路整備に対する満足度 総合計画市民アンケートよ り（R5に実施）	59.6 (R1調査)	目標値	—	—	65	—	—	65	%
			実績値	—	—	70.9	—	—		
			達成率	%	%	109.1%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
314	工事実施路線数(単年度) 実施路線/実施予定路線		目標値	11	21	29	36	43		
			実績値	9	19	27				
314	測量設計実施路線数(単年度) 実施路線/実施予定路線		目標値	9	17	20	33	34		
			実績値	8	14	18				
329	立地適正化計画改定の進捗率 累計事業費/全体事業費		目標値	-	50	100				
			実績値	-	50	100				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市道整備事業の実施により、市道七日市14号線、市道伊勢島本線など地域住民の暮らしの基礎である生活道路を整備することで、冬期間の機械除雪が円滑に行われ、また緊急車両の円滑な移動が確保され、安全で快適な暮らしに貢献できました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	道路の整備延長の目標4,500mに対し、R5実績では5,584mと、達成率が124.1%となりましたが、一部路線において、予定通り完了できなかった路線があることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	コンパクトなまちづくりの推進を図るため道路整備は交通ネットワークの強化において重要であることから「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	<p>都市機能の充実と中山間地の生活基盤整備を並行し、コンパクトなまちづくりにも配慮しながら道路整備を進めていく必要があります。</p> <p>地域要望を基本に、国・県道路事業や市の公共施設整備、大規模開発など周辺環境の変化にも対応しながら、施策目的の達成に向けて、効果的な道路交通網整備を進めます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）	S D G S	9 産業と観光振興の 連携をすすめる	11 社会福祉の充実 をすすめる
------	----	----	--------	------------------	--------------------------	------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	産業経済部 建設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着もてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関 係 課		
施策名	2号 道路機能の維持向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域の実情に即した道路の機能向上、高齢者や障害のある人が安全に移動できる生活道路を整備するため、ユニバーサルデザイン化を促進します。
 施設の状況や維持管理コストを踏まえたうえで、長寿命化を図りながら効率的な維持管理・更新をすすめます。また、冬期間の安全・安心な道路交通を確保するため、効率的な除雪体制の確立及び消融雪施設の整備や除雪計画に基づいた円滑な道路除雪に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
315	○	消融雪施設整備事業		161,001	204,284	236,719	236,360			高い	A
		8 2 2	建設課								
		事業の 取組内容	消融雪施設の新設・更新を行う。								
316	○	橋梁等長寿命化事業		109,105	62,445	46,966	289,210			高い	A
		8 2 2	建設課								
		事業の 取組内容	計画的に橋梁の点検を行い、適切な時期に補修工事を実施する。								
318	○	道路機械除雪事業		1,706,336	1,641,666	1,095,766	1,115,852			高い	A
		8 2 3	建設課								
		事業の 取組内容	主要市道について機械除雪を行って冬期道路交通の確保を図る。								
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 R4 R5 R6 R7					最終 目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	歩道整備延長 県・市管理の整備延長	3,384 (H28~R1 累計)	目標値	600	1,200	1,800	2,400	3,000	3,000	m
			実績値	288	680	834				
			達成率	48.0%	56.6%	46.3%	%	%		
2	バリアフリー化に対する満足度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	41.0 (R1調査)	目標値	—	—	50	—	—	50	%
			実績値	—	—	59.7	—	—		
			達成率	%	%	119.4%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
315	消雪施設(井戸)更新 実施数量/計画数量	2	目標値	2	1	2	2	2	8	施設
			実績値	2	1	4				
315	消雪施設(消雪パイプ)更新 実施数量/計画数量	950	目標値	1,500	1,400	1,500	1,500	1,500	9,500	m
			実績値	2,432	3,326	1,855				
316	橋梁補修工事	3	目標値	1	0	3	2	2	8	橋
			実績値	2	2	1				
316	橋梁点検	127	目標値	139	122	47	98	124	530	橋
			実績値	140	135	48				
318	除雪機械の購入 購入数量/計画数量	3	目標値	4	3	3	3	3	16	台
			実績値	4	3	3				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

総合計画市民アンケート (R5に実施)
 ・道路除雪や消雪パイプの維持
 満足している・やや満足しているの割合 61.4%

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

老朽化等より市道消融雪機能が不全となった散送水管の更新(延長1.9km)、消雪用井戸(4か所)の整備工事を行い、消融雪機能を回復したほか、定期点検での判定が悪く老朽化が進行した橋梁の補修設計(3橋)を行い、施設の長寿命化を図りました。これらの施策によって、市民が安全に道路を通行できるようになりました。
 また、除雪機械の更新や機械の定期整備を適時に行い、常に安全な作業ができる体制を整えることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	計画的な事業推進により、道路機能の維持向上を進めることができましたが、成果指標が目標値に達しなかったことから、「高い」から一段階低い評価としました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	道路機械除雪や消融雪施設の維持や整備により、市民の日常生活に支障ないレベルで交通を確保できたことから「高い」評価としました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>気候変動により異常降雪となることが度々あり、冬期間の交通確保が重要な課題となるなか、機械除雪オペレーターの高齢化が進み、担い手の確保が急務となっていますので、担い手確保の施策を推進していく必要があります。</p> <p>消融雪施設は更新が必要な施設が多く、地域要望にすべて応えることが難しい現状ですが、市民生活に密接に関わるものであることから、緊急度や受益者数等を踏まえたなかで、計画的な更新を進めていきます。</p> <p>歩道については、通学路等を重点的に整備し、歩行者の安全を確保する必要があります。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）	S D 関 G 連 S	
------	----	----	--------	----------------------	--

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	ガス水道局 施設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関 係 課		
施策名	3号 ライフラインの維持向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

ガス・上下水道は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う更新投資の増大などにより、経営環境が厳しくなることを踏まえ、施設の統廃合による効率化を図り、将来を見据えた持続可能な事業運営に努めます。

また、快適な生活環境を維持するために、自然災害に対して強い管路等の耐震化をすすめ、安全・安心な供給体制の維持向上を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
水道 2		水道管耐震化対策事業		200,851	163,517	234,342	342,100			高い	B
		1 1 3	施設課								
		事業の取組内容		水道の安定供給を図るため、水道管の耐震化をすすめる。							
下水 4		穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業		25,158	76,386	212,920	82,484			やや高い	B
		1 1 2,4	施設課								
		事業の取組内容		快適生活環境の継続と農村環境の保全及び経費節減を図るため、処理施設の統合、処理場の設備更新を実施します。							
下水 5		下水道処理区域流域下水道統合事業		0	15,400	137,662	411,936			やや高い	C
		1 1 2	施設課								
		事業の取組内容		持続可能な下水道事業を目指し、単独特環公共下水道及び農業集落排水施設を魚野川流域下水道（堀之内処理区）へ接続します。							
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	下水道施設の統合 現状18か所の施設を統合し 17か所にする	18	目標値	18	18	18	17	17	か所	
			実績値	18	18	18				
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	%			%
2	水道管の耐震化率	13.2 (R1末)	目標値	14.2	14.6	15.1	15.5	16.0	16.0	%
			実績値	14.3	14.6	14.9				
			達成率	100.7%	100.0%	98.7%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

水道管耐震化対策事業は、耐震性に優れた配水用ポリエチレン管等の布設工事を実施（1,978.9m）し、水道管耐震化率の目標値をおおむね達成することができました。
 穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業及び下水道処理区域下水道統合事業は、事業の完了後に効果が現れる事業です。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	水道管の耐震化率は、成果指標をおおむね達成することができました。下水道施設の統合は、繰越もありましたが国の補正予算を活用し発注を前倒しで実施し、事業は着実に進捗しているため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	水道管耐震化対策事業は、水道管の耐震化率を向上させたことにより供給体制が維持向上しました。下水道統合事業は、効率的・持続可能な下水道の事業運営に貢献する事業であるため「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	水道管の耐震化（老朽管の入替）を進めて、漏水による急な断水等で市民に不便をかけることがないようにしていくことが課題です。また、下水道の統廃合を進めることで維持管理を削減し、市民の負担を軽減させていくことが課題です。 今後の方向性としては、安心・安全な供給体制の維持向上を図るため、今後も水道管の布設替えを行い、耐震化を進めます。また、将来を見据えた持続可能な事業運営を行うため、今後も施設の統廃合に向けた事業を実施し、下水道事業の効率化を図ります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結	1	3	5	9	10	11	17
1 持続可能な社会を実現しよう	3 持続可能な社会を実現しよう	5 社会の持続可能な発展を実現しよう	9 産業、雇用、労働環境の持続可能な発展を実現しよう	10 人や組織の持続可能な発展を実現しよう	11 社会の持続可能な発展を実現しよう	17 持続可能な社会を実現しよう	

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係 課	地域創生課	北部事務所
施策名	1号 公共交通の持続可能な地域交通網の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

コンパクトなまちづくりを推進する魚沼市立地適正化計画と整合を図りつつ、基幹的な公共交通軸である乗合バスと、拠点と周辺生活圏を連絡する乗合タクシー及びコミュニティバスの運行支援等によって地域交通網を維持し、高齢者をはじめとした日常生活に必要な移動手段の確保を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
39	○	公共交通総合連携事業		114,124	115,054	116,953	163,289			高い	B
		2 1 6	生活環境課								
		事業の取組内容 路線バス及び乗合タクシー運行事業者へ補助金を交付する。									
65	○	地域との「絆」推進事業 (入広瀬地域コミバス分)		4,566	4,737	4,850	5,620			高い	C
		2 1 9	地域創生課 北部事務所								
		事業の取組内容 集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。									
67		交通安全対策事業		15,349	18,142	19,510	21,152			やや高い	B
		2 1 10	生活環境課								
		事業の取組内容 交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	住民1人あたりの 乗合タクシー等利用回数 乗合タクシー等利用者数 /住民基本台帳人口(3月末)	0.81 (R1実績)	目標値	0.85	0.88	0.91	0.94	0.97	0.97	%
			実績値	0.79	0.78	0.76				
			達成率	92.9%	88.6%	83.5%	%	%		
2	(上記1参考) 乗合タクシー利用者数		目標値	—	—	—	—	—	—	人/年
			実績値	26,949	26,093	24,980				
			達成率	%	%	%	%	%		
3	(上記1参考) 住民基本台帳人口(3月末)		目標値	—	—	—	—	—	—	人
			実績値	34,125	33,438	32,876				
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
67	交通事故件数 (※少ないほど良い)	33	目標値	46	42	38	34	30	30	件
			実績値	40	38	32				
67	交通死亡事故件数 (※少ないほど良い)	1	目標値	0	0	0	0	0	0	件
			実績値	1	4	2				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

高齢者の運転免許証の自主返納を促進及び支援するため、運転免許証を自主返納したドライバーを対象に、タクシーや路線バス等で利用できる共通回数券を交付することにより、自動車等の運転に不安を覚える方の免許証自主返納を促し、特に高齢者等に起因する交通事故の未然防止を図るとともに、公共交通機関の利用を促進しています。(令和5年度共通回数券交付申請者：206人)
 令和5年3月31日：路線バス「小出～小千谷線」「小出～栃尾又線」「小出～六日町線」休止届提出⇒
 令和5年6月1日：上記3路線 休止届取下げ(いずれも事業者)

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市地域公共交通計画に基づき、路線バスや乗合タクシーの運行など公共交通体系の確保・維持を図ることで、市内全域で公共交通空白地が解消されています。これにより、高齢者を中心とした通院や買い物など、交通弱者の移動手段を確保できたほか、唐突に直面した路線バスの休止問題を一つの契機と捉え、交通事業者の分野の垣根を越えた「共創」による取組が進んだことにより、湯之谷地域及び守門地域において令和6年度に向けた地域交通網の再構築を図ることができ、地域住民の利便性の向上に寄与しました。
 また、魚沼市交通安全協会や小出警察署と連携した交通安全の普及・啓発活動が功を奏し、交通事故件数、交通死亡事故件数のいずれも前年を下回り、市民の安心な暮らしを下支えすることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	路線バスや乗合タクシー、コミュニティバスの運行支援を行うことにより、自家用車に頼らない交通手段の維持を図ることができました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	公共交通体系の維持を図ることで、市内全域で公共交通空白地が解消され、高齢者等交通弱者の移動手段を確保することで、安心して暮らせるまちづくりに寄与しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>人口減少や少子高齢化、高まる移動ニーズの多様化に加え、交通事業者の人材確保といった課題を抱える地域公共交通は、大きな転換期を迎えています。特に、社会問題となっているバス運転手不足は全国的な喫緊の課題といえ、自助・共助により取り組まれているコミュニティバスの運行についても、次世代を見据えた担い手確保が必要になっています。</p> <p>令和5年度は、湯之谷・守門地域において令和6年度に向けた地域交通網の再構築を図ることができたほか、令和6年度には、より柔軟かつ効果的な移動手段であるAIオンデマンド交通実証運行の実施を予定しており、地域の特性に応じた持続可能な地域交通網の最適化を図りながら、公共交通の利用促進及び市民満足度の向上に努めていきます。</p> <p>なお、交通安全の推進については、これまで築き上げた関係機関の連携協力体制を維持し、交通事故発生率の高い高齢者への働きかけとして、運転免許証の自主返納の促進、普及・啓発活動、交通安全教育の強化に継続的に取り組んでいきます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結			
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	総務政策部 企画政策課	
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名		
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係 課			
施策名	2号 情報通信基盤の整備と活用				

2. 施策目的（目指すすがた）

情報通信基盤においては、市内どこでも情報が早く的確に伝わることをめざすとともに、地域に密着した情報を発信できる環境整備及び公共施設や商業施設、観光施設等への公衆無線LANの設置をすすめ、また、情報通信技術を積極的に活用することで関係人口を増やし、利便性の高い地域の実現を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
57		ICT推進事業		423	200	990	2,458			やや高い	B
		2 1 7	企画政策課								
		事業の取組内容 市民や来訪者の利便性を向上させるため、公共無線LAN環境整備の支援を行うほか、デジタルに不慣れな方に向けてのスマートフォン教室を開催する。									
526		総合行政システム等管理事業		194,472	210,620	186,476	260,000			高い	B
		2 1 7	企画政策課								
		事業の取組内容 公共施設において公衆無線LANを設置し、地域に密着した情報を発信できる環境を整備する。									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3~R7					最終 目標値	単位	
			R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績			
1	コミュニティFM放送聴取可能世帯の割合	98 (R1実績)	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	98	100	100				
			達成率	81.4%	100.0%	100.0%	%	%		
2	メール配信登録者数	7,297 (H28~R1 累計)	目標値	9,000	10,500	12,000	13,500	15,000	15,000 (H28~R7 累計)	人
			実績値	9,480	9,505	9,706				
			達成率	105.3%	90.5%	80.9%	%	%		
3	公衆無線LAN設置支援件数	—	目標値	3	6	9	12	15	15 (R3~R7 累計)	件
			実績値	2	3	4				
			達成率	66.7%	50.0%	44.4%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
57	行政手続のオンライン化	16	目標値	21	28	35	42	52	52 (R3~R7 累計)	種類
			実績値	16	19	20				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

公衆無線LAN設置支援においては、補助金交付件数が1件ではありましたが、公衆無線LANを利用できる施設が増えたため、市民の利便性向上につながりました。

また、地域デジタル人材育成講座の受講者が講師となって地区公民館2館で高齢者向けスマホ教室を行い、高齢者がスマートフォンの基本的な操作や利便性と危険性を学ぶ機会を作り、多くの方がデジタルの恩恵を享受できる社会の構築に向けて進むことができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地区公民館で高齢者向けスマホ教室が実現したことで、誰もがデジタル技術の恩恵を受けることができる社会に一歩近づいたと判断し、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市公式LINEの運用開始や公開型GISの更改など、情報通信基盤を活用するツールを増強できたことで、関係人口の増加にも期待できるため判断しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	市の情報をより多くの方が得られるよう、市公式LINEの登録者を増やす取組を進めるとともに、デジタル技術を活用し、誰もがより豊かな生活を送ることができるようスマートフォン教室を継続し開催します。 また、公衆無線LANについては、公共施設への計画的な整備を進め、民間施設への設置も同時に進むよう継続的に支援をしていきます。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	メール配信登録者数及び公衆無線LAN設置支援件数が目標に到達していないため「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価に加え、行政手続のデジタル化を進めるにあたっては、デジタル機器に不慣れな方でも扱えるようなシステム、ソフトの導入を検討すること。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結						
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	産業経済部 都市整備課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係 課	地域創生課	
施策名	3号 住環境の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

屋根雪除雪の安全対策や一般住宅の克雪化、耐震化などをすすめるほか、法令に基づき空き家対策として所有者等に解体・撤去を含めた適正な管理を促すとともに、空き家バンクなどを通じて有効活用を図ります。

また、公営住宅については、計画的な改修による長寿命化を図るとともに、民間活力も視野に入れながら利便性の高い市街地周辺に住民ニーズに対応した再編整備をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
45	○	移住定住促進事業		1,588	6,079	16,196	26,009			やや高い	B
		2 1 6	地域創生課								
		事業の取組内容	移住者が新規住宅取得した場合、家賃補助等を行う。								
341		公営住宅等大規模改修事業		10,175	385	82,149	-			やや高い	B
		8 5 1	都市整備課								
		事業の取組内容	老朽化が進む公営住宅の計画的な大規模改修を実施する。								
342		公営住宅整備事業		6,582	14,383	3,783	93,667			やや高い	A
		8 5 1	都市整備課								
		事業の取組内容	建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。								
343		克雪すまいづくり支援事業		8,805	3,419	5,217	6,000			やや高い	C
		8 5 2	都市整備課								
		事業の取組内容	克雪住宅の整備を行う者に対し、費用の一部を補助する。								
344		住宅耐震化等支援事業		100	0	810	3,210			やや高い	B
		8 5 2	都市整備課								
		事業の取組内容	木造住宅の耐震診断・改修等を支援し、地震に強いまちづくりを推進する。								
345		屋根雪除雪安全対策事業		2,312	5,484	2,671	5,500			やや高い	B
		8 5 2	都市整備課								
		事業の取組内容	屋根の雪下ろし作業用の命綱を固定するための金具の取付等の費用を助成する。								
346	○	住宅リフォーム支援事業		62,958	68,080	61,470	60,267			やや高い	B
		8 5 2	都市整備課								
		事業の取組内容	個人住宅等の質の向上を図り、かつ空き家の有効活用により移住定住を促進する。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値						最終 目標値	単位	
			R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績			
1	克雪住宅支援件数 克雪すまいづくり支援件数＋ 屋根雪除雪安全対策支援件数	-	目標値	40	80	120	160	200	200 (R3～R7 累計)	件
			実績値	58	142	200				
			達成率	145.0%	177.5%	166.7%	%	%		

No.	成果指標名	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
2	空き家バンクの登録件数	21 (H28～R1 累計)	目標値	24	28	32	36	40	40 (R3～R7 累計)	件
			実績値	25	32	44				
	令和3年から令和7年の累計		達成率	104.1%	114.2%	137.5%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
45	お試し住宅利用日数	0	目標値	100	150	200	200	200	200	日
			実績値	0	3	38				
45	ふるさと応援住民登録（累計）	353	目標値	420	490	560	630	700	700	人
			実績値	595	839	975				
45	移住・定住者の数	286	目標値	270	280	290	295	300	300	人
			実績値	221	201	281				
341	公営住宅改修工事設計実施数	0	目標値	0	0	1	4	4	4	棟
			実績値	0	0	0				
341	公営住宅改修工事实施棟数	1	目標値	1	0	2	1	3	3	棟
			実績値	1	0	2				
342	公営住宅解体数		目標値	3	6	0	2	2	2	棟
			実績値	3	6	0				
343	克雪すまいづくり支援事業申請件数	9	目標値	40	27	17	17	17	17	件
			実績値	21	10	14				
344	耐震診断 申請件数	0	目標値	3	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	1				
344	アスベスト除去 申請件数	0	目標値	1	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	0				
344	ブロック塀安全対策 申請件数	0	目標値	10	1	1	1	1	1	件
			実績値	1	0	0				
345	屋根雪除雪安全対策 申請件数	19	目標値	60	60	70	70	70	70	件
			実績値	37	74	44				
345	屋根雪除雪による死傷者数	7	目標値	7	7	7	7	7	7	人
			実績値	7	5	5				
346	住宅リフォーム申請件数 (通常・世帯要件分)	401	目標値	397	458	470	320	320	320	件
			実績値	456	492	423				
346	住宅リフォーム申請件数 (空き家対策分)	3	目標値	3	4	5	5	5	5	件
			実績値	8	6	9				
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

空き家バンク登録件数（令和5年度：12件）
 空き家バンク成約数（令和5年度：4件うち1件が市外からの移住者）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

屋根雪除雪安全対策事業、克雪すまいづくり支援事業及び住宅耐震化等支援事業等住宅施策の実施により、市民の安全確保が図られたとともに、住宅リフォーム支援事業により市民が住み続けられる住環境の整備または空き家の活用を図ることができました。また、空き家バンク制度の運用により空き家の解消に寄与できました。

公営住宅については、改修工事の実施により長寿命化が図られ、老朽化した住宅から市街地周辺の公営住宅への住替えにより再編整備を進めました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	克雪住宅支援件数及び空き家バンクの登録件数が目標を上回り、住環境の整備及び空き家活用につながっていることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	住宅リフォーム支援事業を中心とした個人住宅への支援制度は、住環境の質向上、空き家の活用など快適な暮らしを支える基盤整備に貢献していることから「やや高い」と判断しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	<p>個人住宅への支援制度は補助率や補助上限を見直すなど制度設計を検討し、住宅リフォーム事業については、国が進めるカーボンニュートラル・省エネ等に向けた見直しについても検討する必要があります。</p> <p>公営住宅については、老朽化が進行していることから、令和5年度に策定した公営住宅等再編整備計画により着実に改修に取り組んでいきます。また、入居者の高齢化への対応としてバリアフリー化や間取り改善についても検討する必要があります。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）	S D G 連 結	
------	----	----	--------	-----------------------	------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価担当課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着もてるまちづくり	関係課	担当課長名	
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備		消防本部 総務課	
施策名	1号 自助・共助・公助の仕組みの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・学校・職場などで自らがその生命や財産を守り（自助）、地域や企業が助け合い（共助）、市・消防本部・消防団・警察などによる応急・復旧対策活動（公助）の役割を明確にし、連携の仕組みを充実して災害対応を円滑にします。

なお、消防団は、公助と共助の両方の側面があり、指揮統制で活躍する実働部隊であると同時に、公助と共助や自助との「つなぎ役」、住民に対する「情報伝達者」であることから、役割の明確化を図ります。

加えて、災害発生時に備えて適切な公的備蓄と感染症等を考慮した避難所運営を行うとともに、災害時の食料・物資の供給、避難所利用などに関する協定の締結を行い、緊急時の体制を整備します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
355	○	消防団管理運営事業		64,924	61,201	75,154	80,993			やや高い	B
		9 1 2	消防本部								
		事業の取組内容		報酬、費用弁償、車両・施設等の維持管理費、負担金など							
359	○	防災対策事業		22,286	31,740	17,138	16,702			やや高い	B
		9 1 4	防災安全課								
		事業の取組内容		防災対策全般（防災企画、災害対応、自主防災組織、防災訓練等）を実施する							
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位	
										目標値
1	自主防災組織の加入率	94 (R1実績)	目標値	96	97	98	99	100	100	%
			実績値	96	96	96				
			達成率	100.0%	98.9%	98.0%	%	%		
2	防災連携協定の締結数	37 (R1末)	目標値	40	42	45	48	50	50	団体
			実績値	43	43	43				
			達成率	107.5%	102.3%	95.6%	%	%		
3	消防団協力事業所の数	13 (R1末)	目標値	15	16	16	17	18	18	団体
			実績値	15	15	15				
			達成率	100.0%	93.7%	93.7%	%	%		
4	消防団員数 人口比率2.5%が目標値	879 (2.48%) (R1末)	目標値	853	840	827	814	800	800 (2.50%以上)	人
			実績値	829	812	773				
			達成率	97.1%	96.6%	93.4%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
	自主防災組織数	参考	目標値							
			実績値	145	145	145				
	防災士数	参考	目標値							
			実績値	149	158	164				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自主防災組織の加入数、防災連携協定団体数、消防団協力事業所数については、目標値を下回りましたが、自主防災組織の地域防災活動に対する助成や活動支援を行い、防災連携協定団体、消防団協力事業所に対しては、平時から連絡調整等により顔が見える関係づくりに努め、災害時の協力体制の強化につなげることができました。また、消防団についても、装備品の計画的な整備が進められたことにより、団員の災害活動時の安全確保を図るとともに、地域防災力の充実強化につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	自主防災組織の防災意識向上や協定団体等との関係強化、消防団の装備品整備により防災体制の強化につながっているため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	自助・共助の充実に図っていくためには、自主防災組織や消防団の組織力強化や関係機関との連携強化は必要であることから、「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	<p>発災時にそれぞれの自主防災組織がどのように行動するのか、具体的な話し合いが進んでいない地域があるため、そうした地域を一つでも少なくしていくことが課題となっています。防災関係団体等と連携し、地域に出向き一緒になって話し合いに参加しながら、自助、共助の仕組みづくりに向け取り組んでいきます。</p> <p>また、消防団員が減少傾向にあり、次世代の担い手の確保、少数で対応できる体制の強化等が課題となっています。消防団員の確保については、その活動が地域から頼りにされるような活躍の場を増やし、よりやり甲斐のある活動に変えることで、次の世代の担い手の確保につなげていきます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	11 生活圏における まちづくり	17 パートナーシップ 目標を達成しよう
------------------	------------------------	----------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備	関 係 課	地域創生課	
施策名	2号 自助・共助を支える支援体制の強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・学校・職場などでの災害への備え、危険箇所、避難場所や経路などの情報を提供するとともに、自らを守る防災意識の向上や防災教育の充実を図ります。
また、自主防災会や防災士の育成・支援及び連携体制の整備をすすめ、地域防災力の底上げを図るとともに、避難行動要支援者名簿や災害情報の共有を図るなど、地域や職場を守る災害対応を支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
358		防災対策事業		1,720	16,438	10,243	18,302			やや高い	B
		9 1 4	地域創生課								
		事業の取組内容		空家の所有者等に対する管理不全の解消に向けた働きかけや空家の有効活用を支援する							
359	○	防災対策事業		22,286	31,740	17,138	16,702			やや高い	B
		9 1 4	防災安全課								
		事業の取組内容		防災対策全般（防災企画、災害対応、自主防災組織、防災訓練等）を実施する							
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	防災士の市内登録地区数	80 (R1末)	目標値	88	90	95	100	105	105	地区
			実績値	88	91	92				
			達成率	100.0%	101.1%	96.8%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
359	個別避難計画作成件数	参考	目標値							件
			実績値		3	13				
359	地区防災計画作成数	参考	目標値							地区
			実績値		1	3				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自治会から要請のあった管理不全空き家について、所有者に対し迅速に適正管理の呼びかけを行うとともに、危険が切迫している空き家に対しては緊急安全措置（屋根雪除雪、建築部材の飛散防止対策）を2件実施しました。また、空家解体補助金制度や空き家管理ガイドブックの全戸配布等の啓発により、管理不全空き家の発生抑制、適切な維持管理に結び付けました。

また、市内防災士の育成により、8名の防災士が新たに誕生し、地域における防災のリーダー役が増えたことで、地域の防災力強化につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	自治会等と空き家の危険個所の情報共有が行われており、地域を守る対応ができています。また、防災士登録地区数が増加したことにより、地域防災力の強化につながっていることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地域や職場を守っていくためには、保安上危険となる恐れのある空家等の緊急措置や防災士の育成、自主防災組織の活性化に向けた取組は重要であることから、貢献度は「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>地域防災力の向上を図る上で、防災教育などを通じて市民の防災に対する意識付けを進めることが重要となることから、うおぬま防災ネットワークや防災士等の協力を得ながら、共同による防災意識の醸成を図っていきます。</p> <p>また、若い世代の防災意識の醸成も必要とされることから、学校・地域・保護者の連携を基に実施する防災教育イベントの取組を全市に展開していきます。</p> <p>市内での防災士登録数が増えつつありますが、地域での具体的な取組につなげられていないため、防災士のスキルアップ事業や交流事業を継続して実施し、防災士同士の連携を図れる体制づくりを進めていく必要があります。また、自主防災組織の活性化に向けて、支援制度の見直しについても検討する必要があります。</p> <p>空き家が増加しており、所有者等に「管理不全の解消に向けた働きかけ」の強化や所有者・地域住民と連携した「空き家等の有効活用策」の検討が課題となっています。また、市民の生活環境の安全確保を図るためにも適正管理されていない空き家の所有者に対して、連絡・指導を継続して行うことで、所有者による管理を促していきます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	11 17	
------------------	----------	--

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備		建設課	消防本部 総務課
施策名	3号 防災基盤の強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

市の防災体制の充実を図るとともに消防団は教育訓練、処遇等の改善を図りながら団員確保に努め、救済活動を効率的で効果的に行うために関係機関との協力関係を強化します。
また、災害・防災情報の確実な伝達を図るため、防災行政無線等の充実を図るとともに、国県と連携し、自然災害の減災対策のための施設整備を促進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
325	○	内水対策事業		307,605	547,399	340,936	878,115			高い	A
		8 3 1	建設課								
		事業の取組内容 四日町・袖八川地区の内水対策として、排水機場新設及び排水ポンプ増設を行う。									
355	○	消防団管理運営事業		64,924	61,201	75,154	80,993			やや高い	B
		9 1 2	消防本部								
		事業の取組内容 報酬、費用弁償、車両・施設等の維持管理費、負担金など									
356	○	消防団施設整備事業		34,404	29,629	24,520	27,000			高い	A
		9 1 2	消防本部								
		事業の取組内容 小型動力ポンプ、積載車、消防器具庫等を整備する。									
362	○	防災行政無線等整備事業		59,087	33,770	70,600	93,500			高い	A
		9 1 4	防災安全課								
		事業の取組内容 同報系防災行政無線屋外子局増設工事の実施及び防災情報伝達設備等更新計画の策定を行う。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	消防団員数 人口比率2.5%が目標値	879 (2.48%) (R1末)	目標値	853	840	827	814	800	800 (2.50%以上)	人
			実績値	829	812	773				
			達成率	97.1%	96.6%	93.4%	%	%		
2	小型動力消防ポンプ付積載車更新 20年以上経過したものの中から総合的に判断する		目標値	3	3	3	4	1	18	台
			実績値	3	3	3				
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	%	%		
3	屋外子局等数 難聴取地区の縮減を図る	115	目標値	125	130	135	140	140	140	箇所
			実績値	125	129	129				
			達成率	100.0%	99.2%	95.5%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
325	魚沼市四日町地区及び袖八川流域浸水対策協議会	1	目標値	1	2	3	4	5	5	回
			実績値	1	1	1				
355	消防団協力事業所	15	目標値	15	16	16	17	18	18	団体
			実績値	15	15	15				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

防災行政無線屋外子局等数について、令和5年度に実施した調査の結果、更新時においてスピーカの機能向上を図ることによって、市内で必要とされる数は129基で充足することが分かりました。そのため、令和5年度以降は新規設置は行わず、129基のスピーカの機能向上により音達範囲の拡大や音声の聞き取りやすさの改善を順次図っていきます。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

消防団施設整備事業については、小型動力ポンプ付積載車の計画的な更新により、消火活動や水害時の排水対応など地域防災体制の強化につながりました。内水対策事業については、令和7年度の施設完成に向け計画どおり事業が進捗しました。完成時には、内水の浸水対策が強化され、住宅の浸水被害の軽減につながります。防災行政無線等整備事業については、計画どおり屋外拡声子局を更新することができ、スピーカの機能向上による音達範囲の拡大や音声の聞き取りやすさの改善により、確実な情報伝達につなげることができました。またハード面での整備に加え、関係機関との情報交換の機会や危険個所の合同巡視等を通じて、顔の見える関係を強化することで、災害発生時における連携体制の確保につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	消防団の施設及び装備の充実、情報伝達設備の拡充、内水対策整備とも計画どおり進捗し、地域防災基盤の強化につながっていることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市の防災体制の充実を図っていくうえで、消防団の装備等や各種設備等の整備などハード面での対策は優先的に取り組んでいく必要がある事業であり、貢献度は「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>消防団員の減少による地域への資機材の適正配置と、施設と組織のバランスを図った運用が課題です。同報系防災行政無線設備の更新計画を立て、計画的な更新に着手し、情報伝達設備の機能向上により、音達エリアの拡大を進めています。</p> <p>地域の実情や要望に合わせた消防団の再編成を進めるとともに、防災体制の強化を図るため、引き続き施設、設備等の整備を進めていきます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S
D
G
連
s

2
多量な
ゴミを
ゼロに

6
安全な水とトイレ
を世界中に

13
気候変動に
具体的な対策を

15
海の豊かさ
を増やす

17
パートナーシップで
目標を達成しよう

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成		農政課	
施策名	1号 豊かな自然と美しい景観の保全			

2. 施策目的（目指すすがた）

やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐため、環境意識の啓発を図り、市民一人ひとりの環境保全に対する意識を高めるとともに、市民や関係団体と協働して、貴重・希少な動植物の保護に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
215	○	自然環境保全事業		4,331	4,676	6,006	4,431			高い	A
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容 市内の自然環境調査を実施する。									
253		環境保全型農業直接支払交付金事業		2,415	3,010	3,361	3,790			やや高い	A
		6 1 3	農政課								
		事業の取組内容 環境保全に資する農業の取組を行う者に対し交付金を支出する。									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 R4 R5 R6 R7					最終 目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	自然環境保全地域の指定数	3 (R1末)	目標値	5	5	5	5	5	5	箇所
			実績値	5	6	7				
			達成率	100.0%	120.0%	140.0%	%	%		
2	豊かな自然の保全と育成の 満足度 総合計画市民アンケートより (R5に実施)	39.3 (R1調査)	目標値	—	—	50	—	—	50	%
			実績値	—	—	65.3	—	—		
			達成率	%	%	130.6%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
215	自然環境活動団体数	13 (R1末)	目標値	14	18	19	20	20	20	団体
			実績値	17	20	20				
215	生物多様性調査 植物調査確認種数	961	目標値	970	985	1,000	1,010	1,020	1,020	種
			実績値	1,027	1,077	1,097				
253	環境保全に資する農業取組 面積	5,687	目標値	6,000	6,000	7,700	7,700	7,700	7,700	a
			実績値	5,687	7,041	8,297				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から溪流魚放流・保護事業について、評価対象から除外しています。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自然環境保全条例に基づき、マダラナニワトンボ生息地を保全地区に指定し、貴重な自然環境の保全に資することができました。
 調査結果を市民に還元するため生物多様性セミナーを開催し、134人の参加がありました。市内の環境関係団体の後継者不足を解消するため、昆虫採集や身近な昆虫の楽しさを伝える事をテーマに、昆虫はかせネットワークから講演をしていただきました。市民へ調査結果を還元し、自然環境保全に対する意識啓発を行うことができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	生物多様性調査の実施、標本教室等の開催により、広く市民から魚沼の自然環境保全の必要性を認識していただき、環境意識の啓発を図ることができました。また、マダラナニワトンボ生息地を保全地区に指定し、貴重な自然環境の保全に資することができました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市民参加活動による、生物多様性調査、標本教室や標本展など、これまでの啓発活動や環境学習による意識啓発が図られており、着実に成果の積み重ねができています。今後は、これらの成果を後継者等の人材の育成と発掘につなげていく必要があります。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>継続調査の必要性とともに、携わる方の高齢化等により人材の育成と発掘が課題となっています。</p> <p>保全地域・保護動植物を指定した地区の保全維持管理をどのように図っていくか、継続的な保全体制づくりが課題です。</p> <p>引き続き、市、地元NPO法人、市民ボランティアと協働で自然環境保全調査等を進めていくとともに、次世代の人材や団体を育成していく必要があります。また、調査成果を効果的に活用し、環境保全啓発や環境教育の取組へつなげていくこととします。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系				
-----------------------	--	--	--	--

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価担当課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	関係課	担当課長名	
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成			
施策名	2号 森林と里山の再生			

2. 施策目的（目指すすがた）

森林や里山の持つさまざまな機能を活かすための啓発活動、森林体験学習などの推進を図り、市民一人ひとりの森林保全に対する意識を高めます。
また、森林が循環する「植える・育てる・活用する」の推進を図り、森林の有する多面的機能を保持する健全な森林づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
268		林業振興事業		545	551	1,811	3,558			やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容 森林保全の意識を醸成するとともに、林業振興に資する事業を実施する。									
270	○	森林整備事業		17,828	9,845	40,550	103,837			やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容 市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。									
271	○	里山整備事業		22,081	21,579	-	-				
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容 里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。									
274	○	森林体験・環境学習事業		321	675	-	-				
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容 森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3~R7実績					最終目標値	単位	
			R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績			
1	森林整備面積	723 (H16~R1 累計)	目標値	800	840	880	920	960	960 (H16~R7 累計)	ha
			実績値	789	810	832				
			達成率	98.6%	96.4%	94.5%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
268	市民向け森林整備啓発研修の年間回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回/年
			実績値	0	0	2				
268	「魚沼森林塾」参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人/年
			実績値	7	12	7				
268	新規インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人/年
			実績値	4	5	8				
270	市有林森林整備面積	14	目標値	10	10	10	10	10	10	ha/年
			実績値	12	8	11				
270	私有林森林整備面積	19	目標値	10	10	10	10	10	10	ha/年
			実績値	21	12	7				
270	未整備私有林整備面積	0	目標値	5	5	5	5	5	5	ha/年
			実績値	0	2	5				
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha/年
			実績値	41	52	54				
270	里山整備森林資源活用量	574	目標値	600	600	600	600	600	600	t/年
			実績値	1,472	616	744				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から里山整備事業は森林整備事業に、森林体験・環境学習事業は林業振興事業に統合しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市民向け森林整備啓発研修やうおぬま森の学校事業を実施することにより、市民が森林の持つ機能や森林循環サイクルの重要性について理解を深めることができました。森林インストラクター養成講座では、市内関連団体の指導者等が研鑽を重ねるとともに、森林体験や環境学習を指導するための人材を育成しました。

里山整備事業では、新たな団体が事業に取り組むなど、市民の森林保全意識の高まりが着実に進んでいます。また、市有林は間伐等を実施し、私有林は事業体等と連携した間伐等を進めることができ、水源かん養や土砂災害防止など多面的な機能を保持する健全な森林づくりを進めました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	成果指標の達成状況はやや下回るものの、森林整備面積は目標に向かって進展していることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市民の森林保全への関心が徐々に現れ、里山の整備促進につながり、健全な森林づくりに貢献していることから「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	市民一人ひとりの森林保全に対する意識を高めるには、森林・里山に触れる機会を継続し、意識を啓発していく必要があります。また、森林の有する多面的機能を維持し、緑豊かな森林づくりを進めるには、市有林及び私有林の森林整備を促進する必要があります。 市民の森林保全に対する意識を高めるため、森林体験や環境学習など啓発活動の充実を図ります。また、森林環境譲与税を活用し、計画的かつ効率的な間伐等の森林整備を行い、森林の再生を図ります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結				
-----------------------	--	--	--	--

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成	関係 課	生活環境課	
施策名	3号 野生鳥獣との共生			

2. 施策目的（目指すすがた）

野生鳥獣による人身及び農作物への被害を防止するため、森林や里山の整備をすすめます。
また、市民に野生鳥獣に関する正確な情報を伝え、被害防止の啓発を図るとともに関係機関と連携を行い、出没・生息状況の把握に努め、人身及び農作物への被害を防止し、多様な動植物との共生を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
215	○	自然環境保全事業		4,331	4,676	6,006	4,431			高い	A
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容 市内の自然環境調査を実施する。									
270	○	森林整備事業		17,828	9,845	40,550	103,837			やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容 市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。									
271	○	里山整備事業		22,081	21,579	-	-			/	/
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容 里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。									
事業の取組内容											

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	自然環境活動団体数 環境保全活動を行う市内団体数	13	目標値	14	15	15	15	15	15	団体
			実績値	17	20	20				
			達成率	121.4%	133.3%	133.3%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha/年
			実績値	41	52	54				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から里山整備事業は森林整備事業に統合しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

生物多様性セミナーを開催し、鳥獣も含めた環境保全に関する啓発を行い、多様な動植物との共生に資することができました。
また、電気柵の設置や里山の整備が野生鳥獣による人身及び農作物の被害防止につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	市民への環境保全に関する啓発により、成果指標の自然環境活動団体数が目標に到達していることから「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	電気柵設置のほか里山整備により農作物への被害軽減が図られていることから「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	野生鳥獣による被害を防止するため、関係機関と連携し、迅速な情報提供を行います。また、クマ等が人家や農地に近づかないようにするため里山整備や電気柵の設置を促進するとともに、駆除を含めた対策を検討します。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結				
-----------------------	--	--	--	--

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価担当課	部課名	産業経済部 観光課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	関係課	担当課長名	
主要施策	2項 自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進		地域創生課	北部事務所
施策名	1号 自然環境を活用した地域づくりの推進		農林整備課	生涯学習課

2. 施策目的（目指すすがた）

四季折々の美しく豊かな自然を活かした地域の魅力を発信し、四季を通じた体験型観光や友好都市等との交流事業の取組を進めることにより、自然の魅力を伝え、魚沼市から行く尾瀬や雪国体験など、自然の恵みを活かした観光誘客に取り組み、市民や関係団体と協働で地域の活性化を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
34	○	地域交流推進事業		492	1,140	2,049	8,143			やや高い	B
		2 1 6	地域創生課 北部事務所								
		事業の取組内容 友好自治体や、魚沼特使、在京郷人会等各団体との交流を行う。									
42	○	田舎暮らし体験事業		9	68	-	-				
		2 1 6	北部事務所								
		事業の取組内容 田舎暮らしの疑似体験の場、また移住定住を検討する際の素材提供を行う。 ※R5より「No.45移住定住促進事業」へ移行									
282		峠のふるさと広場施設運営事業		5,102	4,875	5,191	6,618			やや高い	A
		6 2 4	農林整備課								
		事業の取組内容 峠のふるさと広場の施設運営と、施設を活用した自然体験イベント等を実施する。									
301	○	誘客宣伝事業		93,733	125,952	65,834	103,828			やや高い	B
		7 1 3	観光課								
		事業の取組内容 魚沼市観光協会と連携し、本市の観光資源を活用した誘客宣伝活動を行う。									
302	○	体験型観光推進事業		20,521	21,501	17,955	18,541			やや高い	B
		7 1 3	観光課								
		事業の取組内容 魚沼の自然や農林業を活用した体験型観光の誘客を図る。									
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業		0	0	0	-			やや低い	D
		10 4 5	生涯学習課								
		事業の取組内容 首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。									
45		移住定住促進事業		1,588	6,079	16,196	26,009			やや高い	B
		10 4 5	地域創生課・北部事務所								
		事業の取組内容 移住・定住促進のため、定住促進事業補助制度の実施、お試し住宅を整備し運営します。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 R4 R5 R6 R7					最終目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	魚沼自然教室の参加者数	9,388 (R1実績)	目標値	9,800	10,100	10,400	10,800	11,000	11,000	人／年
			実績値	7,092	12,218	9,076				
			達成率	72.4%	119.6%	87.3%	%	%		

No.	成果指標名	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
2	ふるさと広場利用者数	2,980 (R1実績)	目標値	3,140	3,230	3,320	3,410	3,500	3,500	人 /年
			実績値	2,990	3,616	5,108				
			達成率	95.2%	111.9%	153.8%	%	%		
3	観光客の入込数	1,654,763 (R1実績)	目標値	1,650,000	1,675,000	1,700,000	1,725,000	1,750,000	1,750,000	人 /年
			実績値	1,174,284	1,551,384	1,690,518				
			達成率	71.2%	92.6%	99.4%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
34	交流回数	0	目標値	20	20	19	19	19	19	回
			実績値	0	19	20				
34	郷人会交流会への参加者数	0	目標値	290	280	210	210	210	210	人
			実績値	0	0	135				
301	年間宿泊客数	82	目標値	145	158	172	185	198	198	千人
			実績値	108	176	176				
302	体験型観光の受入延べ人泊数	0	目標値	24,800	25,400	26,000	26,600	27,200	27,200	人泊数
			実績値	9,671	26,963	20,210				
457	事業参加者数	471	目標値	2,400	2,400	2,400	-	-	-	人
			実績値	759	1,146	359				
457	うち県内団体人数	287	目標値	1200	1200	1200	-	-	-	人
			実績値	610	1,043	105				
457	うち県外団体人数	184	目標値	1,200	1,200	1,200	-	-	-	人
			実績値	149	103	198				
45	お試し住宅利用日数	0	目標値	100	150	200	200	200	200	日
			実績値	0	3	38	0	0		
45	ふるさと応援住民登録数	353	目標値	420	490	560	630	700	700	人
			実績値	595	839	975	0	0		
45	移住・定住者の数	286	目標値	270	280	290	295	300	300	人
			実績値	221	201	281	0	0		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

峠のふるさと広場施設運営事業では、市主催の林業体験会場として活用するほか、地域で古くから行われてきた味噌づくり体験や手漉き和紙を用いた工作体験を実施することで施設の魅力を発信するとともに、残雪の中桜が開花する「雪上桜」の開花状況等の積極的な情報発信や、炭焼き体験を首都圏友好都市等の体験プログラムに取り入れた結果、施設利用者数が過去最多となりました。

体験型観光推進事業では、コロナ禍の影響を回避して2学年が来訪した前年に比べると受入れ児童数が減少していますが、多くの児童、生徒が訪れ、当市の自然環境を活用した交流人口の拡大に貢献しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	首都圏からの体験型観光の推進や自然を活かした拠点施設での体験イベント等の実施により、施策目標達成に向けて進展が見られ、一定の成果を達成することができました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	コロナ禍を経て、グリーンツーリズムやアグリツーリズムといった自然体験型観光のニーズは着実に高まっており、施策を構成する各事業の実施は、施策目標の達成につながります。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>峠のふるさと広場施設運営事業では、悪天候時に屋内で実施可能な体験メニューが限られていることが課題です。体験型観光推進事業では、田植え・稲刈り時期の受入宿泊施設やスタッフが飽和状態に近く、新規受け入れが困難な状況です。</p> <p>今後は、田植え・稲刈り以外の時期における一般客向けのプログラム開発と営業活動が必要ですので、本市の自然環境を活用した体験メニューの開発や既存メニューをブラッシュアップし、新規の来訪者の誘客や来訪者の満足度向上を目指します。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 s	 8 働きがいも 経済成長も	 17 パートナーシップで 目標を達成しよう
-----------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	2項 自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	関 係 課		
施策名	2号 森林資源の利活用の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

森林や里山づくりにより産出されるさまざまな森林資源の地産地消を促進するとともに、地域の活性化をめざして、木質バイオマスエネルギーの有効活用と新たな利活用の取組をすすめて、森林資源の利活用を促進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
276	○	魚沼市産材活用促進事業		15,240	16,055	12,908	15,528			やや高い	B
		6 2 2 農林整備課									
		事業の取組内容		地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。							
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 R4 R5 R6 R7					最終 目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	森林資源の利用量	2,761 (R1実績)	目標値	3,110	3,280	3,450	3,630	3,800	3,800	t /年
			実績値	2,645	1,139	986				
			達成率	85.0%	36.6%	28.5%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	m ³ /年
			実績値	168	152	130				
276	市産材活用製品開発総数		目標値			21	30	40	40	個
			実績値			18				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度より、事務事業に関する活動指標及び成果指標に「市産材活用製品開発総数」を追加しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市産材の家づくり事業補助金では8棟130m³の利用があり森林資源の利活用を推進したほか、市産材を活用した木製什器11件及び木製玩具2件を製作して市内公共施設に配置し、森林資源の地産地消を促進しました。また、森林資源の新たな利活用として、市産材を活用した木製品を18種類・194個を開発・制作して、森林産業の活性化につなげました。
 森林整備や里山整備から産出された木材は、市内を中心に炭材や建築用材、木質バイオマスに活用されました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	低い	市有林及び私有林の利用間伐が進捗せず、成果指標を大きく下回ったことから「低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市産材の家づくり事業や木製什器・玩具の製作などにより、森林資源の地産地消と利活用が図られ、市産材活用製品開発の新たな取組が始まったことから「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○
課題及び今後の方向性	市産材を活用した家づくり事業や木製什器等の市内公共施設導入、さらに市産材を活用した新たな木製品の開発より一定の成果はあるものの、地域の森林産業の活性化を図るためには、市外に向けた森林資源のPRや販路拡大が必要です。また、市有林や私有林の森林整備の促進により森林資源の拡大を図って行く必要があります。 令和6年度から利用間伐等の森林整備を促進し、森林資源利用量の拡大に取り組むとともに、市産材の地産地消と利活用を促進し、川上から川下まで流通の円滑化を図ります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	4 環境の質を高めるために	6 気候変動に具体的な対策を	8 働きがいも経済成長も	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 海の豊かさを守ろう
-----------------------	------------------	-------------------	-----------------	------------------	--------------------	-----------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項 自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	関係 課	生活環境課	農林整備課
施策名	1号 環境教育と環境学習の推進		学校教育課	

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が自然に触れ合い、ふるさとの価値や良さを知り、環境を大切にすることを育むために、豊かな自然やさまざまな地域資源を活用した環境教育を推進します。
また、わかりやすく参加しやすい学習機会を提供し、市民一人ひとりの環境意識の高揚を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
215	○	自然環境保全事業		4,331	4,676	6,006	4,431			高い	A
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容		市内の自然環境調査を実施する。							
274	○	森林体験・環境学習事業		321	675	-	-				
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容		森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。 ※令和5年度から「林業振興事業」に統合したため評価なし							
268	○	林業振興事業		545	551	1,811	3,558			やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容		森林保全の意識を醸成するとともに林業振興に資する事業を実施する。 ※令和5年度から「森林体験・環境学習事業」を統合							
377	○	自然環境学習推進事業		2,774	4,441	5,478	6,181			高い	A
		10 1 3	学校教育課								
		事業の取組内容		小学校5年生を対象に、尾瀬での自然環境学習を行う。							
456		エコ・ミュージアム運営事業		6,047	5,993	6,804	8,341			やや高い	C
		10 4 5	生涯学習課								
		事業の取組内容		県立浅草山麓エコ・ミュージアムの管理運営を行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	環境学習講座等の参加者数	2,609 (R1実績)	目標値	2,300	2,600	2,800	3,000	3,000	3,000	人 /年
			実績値	1,071	1,556	890				
			達成率	46.5%	59.8%	30.7%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
215	自然環境保全地域の指定数	3 (R1末)	目標値	6	7	7	7	7	7	箇所
			実績値	5	6	7				
215	自然環境活動団体数	13 (R1末)	目標値	14	18	19	20	20	20	団体
			実績値	17	20	20				
215	生物多様性調査 植物調査確認種数	961	目標値	970	985	1,000	1,010	1,020	1,020	種
			実績値	1,027	1,077	1,097				
268	市民向け森林整備啓発研修 の年間回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回/年
			実績値	0	0	2				
268	森林体験等参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人/年
			実績値	7	12	7				
268	インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人/年
			実績値	4	5	8				
377	事業が施策の実現に貢献して いると答えた教員の割合	97	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	100	96	96				
377	参加児童の身近な環境に対する 興味・関心が高まったと答 えた教員の割合	100	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	100	87	96				
377	環境を守るために進んで行動 したいと答えた児童の割合	99	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	96	96	95				
456	一般入園者数	7,377	目標値	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	人/年
			実績値	9,333	8,382	6,514				
456	主催事業参加者数	1,758	目標値	2,000	2,000	2,000	2,200	2,400	2,400	人/年
			実績値	2,276	2,923	2,149				
456	環境学習担い手養成講座	471	目標値	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	人/年
			実績値	749	1,146	359				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自然環境学習等を通じて、多くの市民から魚沼市の特色ある自然環境に興味を持っていただくことができました。また、環境学習においては、市民ボランティアが活動で得た知識をネイチャーガイドなど指導者として地域に還元することで、市民の環境学習に貢献しています。

小中学生においては、自然観察、炭焼き体験及び尾瀬学習を通じて森林保全や環境保全に対する意識を高めるとともに、魚沼市という自然豊かな地域を学ぶことで郷土愛の醸成にも寄与することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	ふるさとの魅力や価値について学び、環境を大切にすることを育むという観点からみると、各課が連携するなかで講習会や体験講座など多様な学習機会が提供され、幅広い年齢層へ環境学習の機会を提供することができましたが、参加者数は少なかったため「やや低い」と評価しました。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	小中学生を中心とした、魚沼の自然を活用した環境学習プログラムを実施し、環境学習の推進に貢献しています。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
		目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>環境教育及び環境学習を推進するため、新規インストラクターや若い世代の人財確保と養成が課題となっています。</p> <p>今後は、各地区公民館における環境学習講座をはじめ、全市民を対象とした生物多様性セミナーの開催や、市内小学校5年生が体験する尾瀬学習、森林整備や森林保全に関する講習会を開催し、エコ・ミュージアムでの自然教育など、市民の皆さんへの様々な学習機会の提供とともに学習プログラムの開発も進めながら、各環境学習講座の担い手となる指導者育成に取り組めます。</p>				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
		目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S
D
G
連
s

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	関係課	担当課長名	
主要施策	3項 自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造			
施策名	2号 市民協働による環境保全活動の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民や関係団体の環境保全活動の活性化と拡大を図るため、環境に関するさまざまな情報を提供するなど啓発活動を行うとともに、その担い手となる人材や団体などの育成をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
214		環境衛生管理事業		3,308	3,965	3,480	7,909			やや高い	B
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容 環境美化運動、環境啓発事業、花いっぱい運動等を実施する。									
215	○	自然環境保全事業		4,331	4,676	6,006	4,431			高い	A
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容 市内の自然環境調査を実施する。									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 R4 R5 R6 R7					最終目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	自然環境活動団体数 環境保全活動を行う市内団体数	13 (R1末)	目標値	14	15	15	15	15	15	団体
			実績値	17	20	20				
			達成率	121.4%	133.3%	133.3%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)	R3		R4		R5		R6		R7		最終目標値	単位
			実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績				
214	環境審議会回数	3	目標値	4	4	4	4	4	4	4	4	回/年		
			実績値	3	4	4								
214	環境美化運動の参加者数	8,223	目標値	8,200	8,300	8,300	8,350	8,400	8,400	人/年				
			実績値	9,763	8,867	8,116								
214	環境啓発イベント参加者数	210	目標値	1,000	1,000	5,000	5,000	5,000	5,000	人				
			実績値	940	5,000	4,800								
214	花いっぱい運動参加団体数	70	目標値	70	70	70	70	70	70	団体				
			実績値	71	73	73								
214	花いっぱい運動植栽活動参加者数	1,065	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	人				
			実績値	1,191	1,216	1,052								
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市民から協力をいただき、春秋の環境美化運動、花いっぱい運動等の環境保全事業を継続して実施しています。また、毎年10月に開催している環境フェアにおいては、環境保全啓発を実施し、多くの市民に興味関心をもっていただいています。

生物多様性調査においては、調査活動に市民ボランティアから参加していただいております。3月には調査結果を報告する市民公開セミナーを開催し、市民の環境保全への理解を深めることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	生物多様セミナーや標本教室等を開催し、多くの市民から参加していただいたことで自然環境への理解が得られました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	環境美化運動、花いっぱい運動、生物多様性調査等多くの市民が参加する事業を展開することで市民協働による環境保全活動が推進されています。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	地域の自然を保全するために、現在支援している団体の高齢化問題への対策と、新たな団体の掘り起こし、支援・育成をする必要があります。 効果的な環境政策を進めるため市民との協働を継続する必要があります。さらに、市民協働の自然環境保全調査及び環境保全活動を推進していきます。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）	S D G 連 s			
------	----	----	--------	-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	4項 循環型社会環境の整備		農政課	
施策名	1号 ごみの減量化とリサイクルの推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭や事業所からのごみの発生や排出を抑制し、限りある資源を有効に活用するため、ごみの分別と3Rの啓発活動を積極的にすすめ、引き続きごみを資源に変えるリサイクル意識の醸成を図り、持続可能な循環型社会の構築をめざし、ごみの減量化と再資源化を推進します。
また、ごみ処理業務における広域的な協力体制の構築をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
255		地域バイオマス施設整備事業		0	36,866	2,310	55,336			やや高い	B
		6 1 3	農政課								
		事業の取組内容		有機センターの施設改修や車両更新等を行う。 ※R5で総合計画計上終了							
520		ごみ処理事業		509,359	535,851	595,274	883,453			やや高い	B
		4 2 2	生活環境課								
		事業の取組内容		ごみ処理施設の維持管理を行う。							
525		新ごみ処理施設整備構想策定事業		0	0	6,375	52,209			やや高い	B
		4 2 2	生活環境課								
		事業の取組内容		エコプラント魚沼に替わる新しい廃棄物処理施設の構想策定を行う。							
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	市民一人当たりの一般廃棄物排出量	1,072 (R1実績)	目標値	997	995	993	991	990	990	g /日
			実績値	1,109	1,098	1,037				
			達成率	88.7%	89.6%	95.8%	%	%		
2	リサイクル率	16.5 (R1実績)	目標値	18.3	18.5	18.7	18.9	19.0	19.0	%
			実績値	19.0	18.2	18.2				
			達成率	103.8%	98.4%	97.3%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)	R3実績		R4実績		R5実績		R6実績		R7実績		最終目標値	単位
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
255	原材料受入量	5,647	目標値	6,000	6,000	6,000	6,500	7,000	7,000	t				
			実績値	5,317	5,798	5,715								
255	堆肥販売量	1,903	目標値	2,300	2,300	2,300	2,900	3,150	3,150	t				
			実績値	1,975	2,112	2,342								
525	新ごみ処理施設整備構想策定		目標値		0.3	1			1	冊				
			実績値			1								
525	循環型社会形成推進地域計画策定		目標値			1			1	冊				
			実績値			0.2								
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											
			目標値											
			実績値											

6. その他特記事項

地域バイオマス施設整備事業は令和5年度をもって終了し、以降は地域バイオマス施設維持管理運営事業のみで施設管理を行うこととなりました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

目標には達していないものの、市民一人当たりの一般廃棄物排出量及びリサイクル率とも効果が年々発現してきています。
また、有機センターにおける堆肥販売量も年々増加しており、持続可能な循環型社会の構築に向けて貢献できていると考えます。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	出前講座の開催や「事業系廃棄物分け方・出し方ガイドブック」の新規作成などもあり、目標達成に向けた取組を進めることができました。また、肥料販売量が増え、循環型社会構築の推進も図られてきていることから、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各種取組により、年度毎の目標には達しないものの、年々成果を上げており現状の取組を引き続き着実に進めていくことが重要となることから、「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	<p>ごみの減量化と資源化率の向上には、可燃ごみ中の資源化可能な紙類及び容器包装プラスチックの分別を徹底する必要があります。また、国が推進するプラスチック廃製品の再商品化には、収集体制と処理施設の整備が必要となるため、R13年度に供用開始予定としているごみ処理施設の更新に併せて、分別区分や収集方法について十分な検討を行ったうえで、廃棄物の効率的な処理及び資源化する品目の選定を行う必要があります。</p> <p>新ごみ処理施設の稼働までは現状の処理施設で安定的な処理を継続しなければならないため、機能維持に必要な修繕を計画的に行います。また、有機センターにおいても稼働開始から15年が経過し、堆肥攪拌発酵段階において発生するアンモニアや水蒸気により、設備・機械等の劣化や腐食が激しいため、車両系を含めた改修・更新の検討が必要となります。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）	S D G S	 <small>エネルギーをみんなに そしてクリーンに</small>	 <small>気候変動に 具体的な対策を</small>
------	----	----	--------	------------------	--------------------------------------------	--------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項 循環型社会環境の整備	関 係 課		
施策名	2号 地球温暖化対策の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

地球温暖化対策の取組を計画的・総合的に推進し、公共施設、事業所、家庭において、省エネルギー、自然エネルギーの活用の普及啓発を図ります。
また、太陽光発電や雪冷熱、木質バイオマスなど再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
218	○	地球温暖化対策事業		2,209	7,149	20,512	9,719			やや高い	B
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容		省エネルギー啓発、新エネルギー利用促進、カーボン・オフセット事業等の温暖化防止の取組を行う。							
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 R4 R5 R6 R7					最終 目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	再生可能エネルギー機器設置件数	18 (R1実績)	目標値	30	30	40	50	55	55	件／年
			実績値	10	16	25				
			達成率	33.3%	53.3%	62.5%	%	%		
2	バイオマスの利用率	83.0 (R1実績)	目標値	85	87	89	91	92	92	%
			実績値	83	88	-				
			達成率	97.6%	101.1%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
218	エコチャレンジ参加者数	188	目標値	140	140	140	140	140	140	人
			実績値	154	186	200				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度に地球温暖化対策実行計画（区域施策編）及び（事務事業編）の改定を行い、温室効果ガスの排出削減目標を修正しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

省エネルギー、自然エネルギーの活用の普及啓発を図るため、「地球温暖化対策ワークショップ事業」、「グリーンカーテン普及事業」、「省エネ家電等入替促進事業補助金」などを実施し、市民に向けて地球温暖化対策や身近な省エネの実践を呼びかけました。地球温暖化防止の普及・啓発を図るため、啓発イベント「魚沼市環境・交通安全フェア」を開催し、地球温暖化対策ワークショップの成果展示等を行いました。また、太陽光発電や雪冷熱、木質バイオマスなどの再生可能エネルギーの普及拡大を図るため、再エネ機器等の設置に要する費用の一部に補助を行いました。また、カーボンオフセット事業を実施し、環境に関心のある自治体、事業所からクレジットを購入いただき、CO2削減に貢献していただくことができました。

家庭や事業者等が継続的に可能な範囲で取り組むことができるよう、地球温暖化対策に関するこれらの事業を継続して実施することで、各主体の意識啓発に寄与し、行動変容につなげることができたものと考えます。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	再生可能エネルギー機器設置件数は目標値に達しませんでした。前年度と比較して件数が増加したこと、また、エコチャレンジ参加者数が多かったため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	再生可能エネルギー機器の設置にかかる経費の補助を継続的に実施することで、各主体の意識啓発に寄与し、再エネ導入の動機付けとしても必要な事業と考えるため「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	<p>地球温暖化対策は目に見える形での成果が得られにくい分、市民一人ひとりの意識付けが重要です。より多くの市民・事業者等の意識醸成を図り行動につなげていくことが課題です。</p> <p>国や県が2050カーボンニュートラル（温室効果ガス排出実質ゼロ）を目標としていることを踏まえ、市でも脱炭素化のための具体的な施策を検討していくことが課題です。地球温暖化対策については、長期的に取り組んでいくことが必要です。県などの関係機関と連携しながら、市民や事業者を巻き込むような取組を構築していく必要があります。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	市の地球温暖化対策実行計画に則った取組とすること。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系							
	6	11	12	13	14	15	
	清潔な水とトイレ を世界中に	住み続けられる まちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に 具体的な対策を	海の豊かさ を増やす	陸の豊かさを 守る	陸の豊かさを 守る
	水	まち	リサイクル	地球	海	陸	陸

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 生活環境課	
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり		担当課長名		
主要施策	4項 循環型社会環境の整備	関係 課			
施策名	3号 公害の抑制と生活環境の保全				

2. 施策目的（目指すすがた）

公害発生を未然に防ぎ、身近な生活環境を良好に保つために監視活動や環境意識向上のための啓発活動に努めます。
また、市民が中心になった環境美化運動を推進し、ごみのないきれいなまちづくりをめざして生活環境の保全に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
214		環境衛生管理事業		3,308	3,965	3,480	7,909			やや高い	B
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容 環境美化運動、環境啓発事業、花いっぱい運動等を実施する。									
216		環境監視員設置事業		1,040	1,208	1,137	1,150			やや高い	B
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容 環境監視員による巡回監視活動を実施し、公害の発生抑制と不法投棄を防止する。									
217		公害対策事業		4,326	4,320	4,301	5,184			高い	B
		4 1 4	生活環境課								
		事業の取組内容 騒音、振動、悪臭等の苦情処理及び調査、河川水質検査、広報等の未然防止活動を行う。									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	環境美化運動の参加者数	7,737 (R1実績)	目標値	8,200	9,300	10,400	11,500	12,700	12,700	人／年
			実績値	9,763	8,867	8,116				
			達成率	119.0%	95.3%	78.0%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
214	不法投棄物処理量	6.3	目標値	5.5	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	t
			実績値	6.6	4.0	3.3				
216	7大公害苦情件数	62	目標値	45	45	45	40	40	40	件
			実績値	50	49	52				
217	臭気等苦情数(悪臭・野焼き)	24	目標値	25	25	24	24	24	24	件
			実績値	20	36	19				
217	騒音・振動苦情数	4	目標値	5	5	4	4	4	4	件
			実績値	1	2	2				
217	水質汚濁等苦情数	41	目標値	40	40	38	38	38	38	件
			実績値	29	28	21				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

畜産由来の臭気苦情については、関係機関とも連携し、実施可能な対応についての助言等を行いました。
 その他の苦情については、公正な判断や対応、指導等ができるよう、内容の聴き取りや現地確認を行い、事態の終息に努めました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 環境美化運動の参加者が目標に達成していないものの、苦情の件数は減少しているため「やや高い」としました。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 環境美化運動や、巡回監視活動など、市民と行政等が協力しながら公害抑制や生活環境保全に貢献していることから「やや高い」と判断しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	臭気や騒音等の人の感覚による苦情は、対策や取組の成果を確認できるまで時間を要します。 苦情の原因解決のためには、公害のみでなく様々な面から指導や相談をする必要があることから、関係機関や関係部署との連携を密にする必要があります。 今後も、継続して啓発等の未然防止対策を行います。 また、長期の継続案件については、引き続き原因者に対して面談や申入れ等を行い、苦情内容の共有や対策の要望について継続して行っていく必要があります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結	2	3	6	12	14	15	17
-----------------------	---	---	---	----	----	----	----

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	関係課	担当課長名	
主要施策	1項 心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造		企画政策課	生涯学習課
施策名	1号 健康づくりの推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民一人ひとりが、自らの健康について考え、自主的に健康づくりに取り組むことができるよう、各年代に適した栄養・食生活・身体活動・こころの健康・休養などに関する情報の発信や動機付け（インセンティブ）を提供します。また、加齢に伴う心身の機能低下の予防に関して若い世代から取り組めるよう普及啓発を行います。

からだの健康とともにこころの健康について、悩みを抱えた人の孤独を防ぐため、保健・医療・福祉だけでなく、一人ひとりが身近な人の状況に気づき・つながり・見守りができるネットワークの充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
185		心の健康づくり推進事業		274	748	1,089	1,289			やや高い	A
		4 1 1	健康増進課								
		事業の取組内容 心の健康についての普及啓発、ハイリスク者対策、支援ネットワークの構築等を行う。									
203		電話健康相談事業		2,040	1,776	-	-				
		4 1 1	健康増進課								
		事業の取組内容 急病の対処法、家庭内の応急手当、受診の目安等の電話相談に24時間対応する。(R5に保健対策事業へ統合)									
207		保健対策事業		1,026	1,342	3,885	5,491			やや高い	C
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容 健康教育・個別訪問指導・健康情報の発信等を行う。(R5に電話健康相談事業、健康づくり支援事業と統合)									
208		歯科保健事業		5,429	5,010	5,077	7,314			高い	A
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容 乳幼児歯科保健、成人歯科保健、フッ化物洗口等を実施する。									
210	○	食でつながる元気なまちづくり推進事業		2,891	3,754	3,286	3,620			やや高い	B
		2 1 6	企画政策課								
		事業の取組内容 「食」の課題に連携して取り組み、市民の健康づくりと産業の向上を目指す。									
211		健康づくり支援事業		1,042	1,162	-	-				
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容 健康ポイント制度を実施する。(R5に保健対策事業へ統合)									
460	○	市民スポーツ普及事業		12,582	13,834	14,294	25,574			やや高い	B
		10 5 1	生涯学習課								
		事業の取組内容 スポーツフェスティバルや各種運動教室を開催し、市民の健康増進や生きがいのづくり、スポーツ実施率の向上を図る。									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	自分が健康であると感じている人の割合 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	79.8 (R1調査)	目標値	—	—	—	86	—	85	%
			実績値	—	—	—				
			達成率	%	%	%	%	%		
2	5年間平均の自殺死亡人数	11.2 (H26～H30平均)	目標値	11	10	10	10	10	10以下 (R3～R7平均)	人
			実績値	8.8	8.6	7.8				
			達成率	125.0%	116.3%	128.2%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
185	市民等向けゲートキーパー養成講座実施回数	2	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	2	2				
185	市民等向けゲートキーパー養成講座参加者数	35	目標値	40	40	40	40	40	40	人
			実績値	46	57	57				
185	市プラットホーム等を活用した事例検討の実施件数	-	目標値	-	2	3	5	6	6	件
			実績値	-	2	6				
207	運動や食生活等の生活習慣について、既に取り組んでいる（6か月以上）人の割合	26.5	目標値	24.1	24.5	24.8	25.3	25.5	25.8	%
			実績値	22.8	22.2	20.8				
207	家庭で血圧測定をする人の割合	47.7	目標値	47.1	47.3	47.5	47.7	47.9	47.9	%
			実績値	47.2	50.3	52.0				
207	喫煙率	13.7	目標値	15.6	15.4	15.2	15.0	14.8	14.8	%
			実績値	15.1	14.1	14.5				
207	元気ポイント参加者数（実数）	689	目標値	630	690	750	810	870	870	人
			実績値	758	778	494 ※1				
208	12歳のむし歯有病率	9.2	目標値	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8	13.8	%
			実績値	11.7	5.7	10.6				
208	成人歯科健診受診率	12.3	目標値	13.3	13.5	13.7	13.9	14.1	14.1	%
			実績値	15.2	14.8	16.7				
210	食まちうおぬまネットワーク推進協議会の開催数	3	目標値	2	-	-	-	-	10	回
			実績値	0	-	-	-	-		
210	食まちイベント参加人数	210	目標値	1,000	4,000	5,000	5,500	6,000	6,000	人/年
			実績値	940	5,000	4,800				
460	各種スポーツ教室等の参加者数	8,014	目標値	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	人/年
			実績値	9,555	10,235	9,993				
460	体育施設利用者数	167,895	目標値	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	人/年
			実績値	186,012	186,097	206,682				
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度に電話健康相談事業・健康づくり支援事業は保健対策事業に統合しました。
 令和5年度にひきこもり対策支援事業は、心の健康づくり推進事業に統合しました。
 特定健診質問票の集計については、市の集団健診受診者の結果を対象としています。
 ※1 元気ポイント事業について、令和5年度から年2回の抽選を年1回にしました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

健康に関する普及啓発活動を継続して実施することにより、家庭血圧測定をする人の割合と喫煙率、成人歯科健診受診率は目標を達成し、市民の健康意識の向上につながっています。
 心の健康づくりに関する普及啓発や市民向け講演会の開催、ゲートキーパー養成講座の実施により、ゲートキーパーへの理解促進及び人材育成につながりました。
 食まちイベントの開催により、多くの方に食からの健康づくりに対して関心を持ってもらうことができました。
 体力測定会や親子運動教室など、エンジョイススポーツクラブ魚沼と連携して企画し、各年齢層に合った運動プログラムを提供したことで、スポーツや体の動かし方について理解を深めることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>市民の生活習慣病予防に取り組む意識改革が将来の重症化予防につながるため、特に40歳から60歳代が健康づくりに関心をもってもらえるような普及啓発や健康教育などを今後も継続的に実施します。</p> <p>悩みを抱えた人の孤独を防ぐために、相談先の普及啓発を行うとともに、一人ひとりが身近な人の状況に気づき・つなぎ・見守りができるよう連携体制の強化や人材養成に取り組む必要があります。</p> <p>幅広い年齢の市民が参加でき、運動習慣の定着のため、市民のニーズの把握や新しい競技の体験会を実施するなどの新たな取組を進めていきます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>一次評価のとおり。</p>			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	
-----------------------	--

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	1項 心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造			
施策名	2号 疾病予防と重症化防止対策の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

病気の予防、早期発見及び生活習慣病の重症化を防止するため、特定・基本健診及び各種がん検診の受診率向上を図ります。また、健（検）診結果をはじめとする各種データを活用し、疾病の予防と重症化防止のための健康相談・健康教育の内容を充実します。
 新型インフルエンザ等をはじめとする各種感染症について、正しい知識の普及と感染予防に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
204		基本健診事業		3,183	3,311	3,216	4,805			やや高い	C
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容									
		健康増進法に基づく健康診査や保健指導を実施する。									
206		がん検診事業		44,942	61,847	61,588	75,579			やや高い	C
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容									
		各がん検診の実施、個別受診の勧奨、がん予防のための普及啓発等を行う。									
519		感染症対策事業		419,989	340,547	231,243	232,991			高い	B
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容									
		予防接種により疾病に対する免疫を保有し、感染症の発生及びまん延を予防する。（R5に感染症対策事業と統合し、事業名を予防接種事業から感染症対策事業に変更）									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
1	特定健康診査受診率		目標値	58	59	60	63	65	65	%
			実績値	49.3	48.4	未確定				
			達成率	85.0%	82.0%	%	%	%		
2	特定保健指導実施率 (市集団検診実施分)		目標値	58	59	60	63	65	65	%
			実績値	41.6	40.3	未確定				
			達成率	71.7%	68.3%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
204	39歳以下国保受診率	10.4	目標値	11	12	13	14	15	15	%
			実績値	9.2	13.8	12.5				
204	骨粗鬆症検診受診率	30	目標値	33	35	35	37	40	40	%
			実績値	25.6	23.4	28.8				
206	肺がん検診受診率	16.3	目標値	18.0	21.0	24.0	27.0	30.0	30.0	%
			実績値	19.1	19.8	19.5				
206	胃がん検診受診率	8.6	目標値	12.0	16.0	20.0	25.0	30.0	30.0	%
			実績値	10.0	10.1	9.6				
206	大腸がん検診受診率	15.8	目標値	18.0	21.0	24.0	27.0	30.0	30.0	%
			実績値	17.6	18.0	17.9				
206	乳がん検診受診率	24.5	目標値	27.6	30.7	33.8	36.9	40.0	40.0	%
			実績値	24.6	25.3	24.7				
206	子宮頸がん検診受診率	18.6	目標値	21.8	25.0	28.2	31.4	35.0	35.0	%
			実績値	18.7	19.3	18.6				
519	定期接種(麻しん風しん(MR)2期)の接種率	99.6	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	%
			実績値	98.2	95.9	99.0				
519	定期接種(高齢者インフルエンザ)の接種率	67.8	目標値	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%
			実績値	58.5	59.2	56.6				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

特定健診受診率及び特定保健指導実施率は、働き盛り世代の状況を把握でき、また全国及び県との比較ができるため成果指標としましたが、実績値が確定するのは翌年度の12月頃となります。

各種がん検診の指標の実績は速報値です。「がん検診結果報告」で報告した数値を計上しており、数値が確定するのは、翌年度末です。また、新潟県が発行している「にいがたの生活習慣病」の算出方法に基づき算出しているため、受診者数を対象者数で除して求めた値とは異なります。

感染症対策として、令和5年度から50歳以上を対象とした帯状疱疹ワクチン任意予防接種の助成を開始しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

骨粗しょう症検診では、要精密検査結果判定された方の約6割が骨粗しょう症又は骨減少症と診断されました。また、がん検診では、要精密検査判定された方のうち17名にがんが発見されました。各健診、検査の実施により、疾病の早期発見、早期治療につながりました。

各種予防接種の実施により、発症者の抑制につながり、市内における感染症のまん延防止と重症化予防につながりました。

新たに帯状疱疹ワクチン予防接種の助成を開始したことにより、経済的負担の軽減と疾病の発症及び重症化の予防につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い 指標となる達成度が目標より下回っており、その他事務事業に関する活動指標及び成果指標についても目標を下回っていることから、「やや低い」と評価しました。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 各種健康診断や検査を行うことで、疾病の早期発見、早期治療につながることで、また、各種予防接種の実施により、重症化予防や感染症のまん延防止となることから、「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	生活習慣病又は他疾病の早期発見及び重症化予防並びに早期治療のためには、毎年の健診受診又は検査及び各検査結果の活用が重要ですが、健診、検査の受診率が低い傾向にあります。そのため、市民への健診、検査、予防接種の有効性をわかりやすくお知らせするとともに、受診しやすい環境及び効果的な受診勧奨の方法を検討する必要があります。今後も健診や検査結果で精密検査が必要と判定された方への受診勧奨や保健指導を引き続き行っていきます。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い 一次評価のとおり。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結						
-----------------------	--	--	--	--	--	--

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	2項 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築		企画政策課	地域創生課
施策名	1号 子育て支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、すべての保護者が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じられるよう、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめていきます。

妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターと子育て世代包括支援センターとの連携を強化し、情報の発信と相談・支援体制の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
36	○	男女共同参画事業		73	37	813	2,699			やや高い	B
		2 1 6	企画政策課								
		事業の取組内容 男女共同参画社会推進のため、各種意識啓発活動、市民講座等を実施する。									
47	○	うおぬま出会いサポート事業		695	1,970	7,376	8,330			やや低い	C
		2 1 6	地域創生課								
		事業の取組内容 婚活イベント、結婚セミナー、結婚サポーター研修等を実施する。									
139	○	ひとり親家庭等医療費助成事業		15,449	17,346	18,196	18,505			やや高い	A
		3 2 2	子ども課								
		事業の取組内容 ひとり親世帯の保険診療の自己負担金の一部（児童は全額）を助成する。									
172	○	要保護児童相談・支援事業		2,459	4,498	4,917	6,212			やや高い	A
		3 2 6	子ども課								
		事業の取組内容 要保護児童及び要支援妊婦相談支援の実施等により児童虐待の防止を図る。									
194	○	母子健康相談・教育事業		3,339	3,446	3,472	4,471			やや高い	B
		4 1 2	子ども課								
		事業の取組内容 妊娠期から幼児期に関する正しい知識の普及、発達段階に応じた子育て教室等を実施する。									
195	○	乳児家庭全戸訪問事業		394	382	317	652			やや高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の取組内容 生後4ヶ月までに訪問し、子育て支援の情報提供と養育環境の把握を行う。									
196	○	妊産婦医療費助成事業		9,114	8,014	9,007	11,026			高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の取組内容 妊産婦の医療費で保険診療による自己負担金を全額助成する。									
197	○	妊産婦・新生児訪問事業		1,041	840	928	1,537			やや高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の取組内容 助産師等による新生児と産婦訪問を実施する。									
198	○	不妊・不育治療費助成事業		3,236	4,378	2,027	4,450			やや高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の取組内容 不妊・不育治療に要する費用の一部を助成する。									
199	○	妊婦健診助成事業		18,248	16,063	16,111	25,116			やや高い	B
		4 1 2	子ども課								
		事業の取組内容 妊婦健診について、一人当たり16回分を助成する。									

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
200	○	子ども医療費助成事業		87,689	93,644	110,300	99,957			やや高い	A
		4 1 2	子ども課								
事業の取組内容 児童の医療費で保険診療による自己負担金を全額助成する。											
201	○	乳幼児健診事業		6,301	7,138	5,481	10,058			やや高い	B
		4 1 2	子ども課								
事業の取組内容 法定以外にも健診の機会を設け、疾病予防や育児相談を行う。											
515	○	すこやかサポート事業		912	1,705	1,685	4,027			やや高い	A
		4 1 2	子ども課								
事業の取組内容 子育て世代包括支援センターを設置し、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行う。											

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	子育てが楽しいと感じる人の割合 4か月児健診時のアンケート調査での割合	4か月 89.2 (R1調査)	目標値	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	5ポイント増加	%
			実績値	95.8	92.1	93.4				
			達成率	105.2%	100.1%	100.4%	%	%		
2	子育てが楽しいと感じる人の割合 1歳6か月児健診時のアンケート調査での割合	1歳6か月 84.9 (R1調査)	目標値	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	5ポイント増加	%
			実績値	87.0	89.0	90.6				
			達成率	101.1%	102.2%	103.0%	%	%		
3	子育てが楽しいと感じる人の割合 3歳児健診時のアンケート調査での割合	3歳児 82.5 (R1調査)	目標値	83.5	84.5	85.5	86.5	87.5	5ポイント増加	%
			実績値	82.2	81.3	84.2				
			達成率	98.4%	96.2%	98.5%	%	%		
4	ハッピー・パートナー企業登録数	12 (R1実績)	目標値	16	19	22	26	30	30	社
			実績値	13	14	21				
			達成率	81.2%	73.6%	95.4%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
36	市の審議会等への女性の登用率	24	目標値	25	29	33	37	40	40	%
			実績値	23.3	23.8	23.2				
36	研修会後のアンケートで「とても参考になった」の割合	-	目標値	73	80	80	80	80	80	%
			実績値	83	76	58				
47	参加者数（1回平均）	9	目標値	20	20	20	20	20	20	人
			実績値	25.5	26.7	15.0				
47	参加者満足度（1回平均）	実施なし	目標値	80	80	80	80	80	80	%
			実績値	82.2	77.5	66.7				
47	（参考）年間参加者数（男性/女性）		目標値							
			実績値	26/25	59/21	17/13				
139	受給者証更新申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	99.2	99.2				
172	（参考）児童虐待の件数	31	目標値							人
			実績値	49	55	40				
172	（参考）上記のうち児童相談所が一時保護・措置した件数	5	目標値							人
			実績値	3	1	1				
194	楽しそうに食べている子の割合（1歳6か月児健診）	90	目標値	91	92	93	94	95	95	%
			実績値	90.7	89	89.0				
195	こんにちは赤ちゃん訪問実施率	99.5	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	99.4	100	99.3				
195	（参考）訪問実人員/対象者実人員	202/203	目標値							
			実績値	165/166	142/142	139/140				
196	妊娠届出者の申請率	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100				
196	（参考）実人数	263	目標値							
			実績値	264	238	234				

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
196	(参考) 延べ助成件数	1,667	目標値							
			実績値	1,914	1,627	1,719				
197	新生児への訪問率	92.3	目標値	93	94	95	95	95	95	%
			実績値	94.6	94.7	95.8				
197	(参考) 新生児訪問実人数/対象全数	198/202	目標値							
			実績値	159/168	126/133	137/143				
197	(参考) 妊婦・産婦訪問実人数/対象全数	193/200	目標値							
			実績値	166/172	128/134	148/153				
198	(参考) 特定治療申請件数	20	目標値							件
			実績値	29	39	21				
198	(参考) 一般治療申請件数	20	目標値							件
			実績値	12	10	2				
198	(参考) 妊娠成立夫婦/制度利用夫婦	11/29	目標値							組
			実績値	6/27	17/33	10/16				
199	(参考) 妊婦検診延受診者数	2,460	目標値							人
			実績値	2,107	1,794	1,843				
199	(参考) 産婦健診助成件数	197	目標値							件
			実績値	157	240	249				
200	出生児の申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100				
200	転入等の申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100				
200	(参考) 子ども医療費助成件数	32,648	目標値	-	-	-				件
			実績値	38,078	38,732	47,361				
201	健診受診率(4か月、1歳6か月、3歳児健診)	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	99.7	100	100				
201	(参考) 乳児一般健康診査受診者数	213	目標値							人
			実績値	172	163	123				
515	この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合(3歳児)	91.1	目標値	92	93	94	95	96	96	%
			実績値	96	96.3	96.4				
515	(参考) 年間相談件数	1,209	目標値							件
			実績値	1,369	1,236	984				
515	EPDS : 9点未満の割合	91	目標値	91	92	93	94	94	94	%
			実績値	96.0	94.1	97.7				
515	(参考) 利用件数	令和3年度拡充	目標値							件
			実績値	5	6	2				

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

妊娠期から幼児期までの妊産婦を対象とした教室や産後ケアを行い、正しい子育ての知識の普及を図ることで、育児不安の解消につながりました。さらに子育て世帯に対する経済的支援を行うことで安心して養育できる環境を整えました。こどもに対しては新生児訪問から乳幼児健診等を通じて健康管理や発達相談等を定期的に行い、継続的な支援が必要な家庭には保健師が訪問するなど細やかな対応を行うことで健やかな成長を促し、保育園等の入所につながりました。

また、すべての妊産婦、子育て世代、こどもへの相談支援体制の強化を図るため、これまで「子育て世代包括支援センター(母子保健部門)」と「子ども家庭総合支援拠点(児童福祉部門)」において実施している相談支援を一体的に行う「こども家庭センター」設置のための体制整備を進めました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	成果指標の半数は目標値を超えており、前年度と比べて実績値が上昇傾向にあるため「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各事業において「高い」、「やや高い」が多数ですが、今後は更なる事業間の連携と支援事業の周知を図る必要があると考え、「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	<p>子育て支援については、既存の事業や股関節エコー検診などの新事業を市内外に周知するとともに、魚沼市の子育て支援事業の認知度を高め、支援が必要な人に届けるために子育て応援のまち魚沼市をアピールする必要があります。また、ファミリー・サポート・センターの提供会員や養育支援訪問事業の受託者等が不足していることから、子育てに関する地域資源の開拓を進めるとともに、地域全体に子育て相談窓口の周知を図るなど助けを必要としている人が気軽に子育て相談しやすい環境を作り上げることが課題です。</p> <p>今後は、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を継続していくために、「魚沼市こども家庭センター」を軸とした関係機関との連携強化と包括的な相談支援体制の構築を進めます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系					
-----------------------	--	--	--	--	--

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	2項 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築			
施策名	2号 子育て環境の充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

保護者の就業状況など社会の変化による保育ニーズの多様化に対応するため、多面的な保育サービスの提供や、公立保育園の運営のあり方について検討します。
乳児期から健やかな発達を支援するため、子育て支援センターや子育ての駅かたっくりの体制整備や施策の充実に加え、保護者や地域が共に学び、育ち、支え合えるよう情報提供に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
142		児童福祉施設整備事業		9,735	88,928	121,093	113,750			高い	A
		3 2 3	子ども課								
		事業の取組内容 施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。									
169		地域療育支援事業		8,781	9,466	9,393	12,170			やや高い	A
		3 2 6	子ども課								
		事業の取組内容 発達障害またはその疑いがある幼児のため、療育教室や園訪問等を行う。									
173	○	子ども・子育て支援事業		922	923	2,220	5,405			やや高い	B
		3 2 6	子ども課								
		事業の取組内容 子ども・子育て新制度の推進に向けて計画策定、進捗管理を行う。									
514	○	子育ての駅運営事業		15,368	23,671	28,746	29,831			高い	B
		2 1 6	子ども課								
		事業の取組内容 子育ての駅かたっくりの管理運営									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
				実績	実績	実績	実績	実績			
1	ファミリーサポートセンター会員数	30 (R1調査)	目標値	40	50	60	70	70	70	人	
			実績値	67	94	112					
			達成率	167.5%	188.0%	186.6%	%	%			
2	この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合(4か月健診)	96.9 (R1調査)	目標値	17	98	98	99	99	100	100	%
			実績値	93	96	91					
			達成率	94.8%	97.9%	91.9%	%	%			
3			目標値								
			実績値								
			達成率	%	%	%	%	%			
4			目標値								
			実績値								
			達成率	%	%	%	%	%			

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
142	長寿命化計画作成	1	目標値	1	0	0	0	0	1	計画
			実績値	1	0	0				
142	施設整備	0	目標値	0	1	1	1	1	4	施設
			実績値	0	1	1				
142	旧ひかり保育園解体	0	目標値	0	0	1/10	9/10	0	1	事業
			実績値	0	0	1/10				
169	就園前（つくしプレイ）教室参加者	274	目標値	280	280	280	280	280	280	人/年
			実績値	334	355	315				
169	就学前（ステップアップ）教室	336	目標値	288	288	288	288	288	288	人/年
			実績値	320	282	299				
173	会議の開催回数	2	目標値	3	3	3	5	3	3	回/年
			実績値	3	2	2				
514	子育ての駅「かたっくり」市内利用者数	15,057	目標値	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	人
			実績値	15,410	17,186	20,075				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

公立保育園等の児童福祉施設については、魚沼市子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育サービスの提供や公立保育園運営を行い、魚沼市児童福祉施設長寿命化計画に沿った施設改修等を実施したことで、快適な保育環境を維持することができました。また、子育ての駅かたっくりは指定管理施設となり、民間のノウハウを活かした施設運営により、来館者が増加しています。

地域で支える子育て環境については、ファミリー・サポート・センター会員数・依頼件数ともに増加しており、地域資源を活用した子育て環境の充実につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	ファミリー・サポート・センター会員については、目標値を大きく超えているものの、この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合が減少傾向であることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	地域の子育てに関する機運をさらに高め、子育て環境の充実と切れ目のない支援に向けた子育て関係機関の連携を密にしていく必要があることから「やや高い」としました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>早朝、延長及び休日保育や増員配置が必要な幼児の保育など、多様化している保育ニーズに提供体制が追いついていない現状があります。令和5年度に実施した子ども子育てニーズ調査の結果等を踏まえ、今後の保育サービスの量と提供体制等を検討し、第三期魚沼市子ども・子育て支援事業計画に反映します。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合が増えるよう、子育て分野の要因だけでなく他分野の要因や、ほかの事業も含めて検討し、取組を進めること。</p>			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 s	
-----------------------	--

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 福祉支援課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	3項 市民が安心して暮らせる仕組みの構築		介護福祉課	
施策名	1号 すべての市民が自立できる環境の構築			

2. 施策目的（目指すすがた）

障害のある人が、住み慣れた地域の中で、自立した日常生活、社会生活を送ることができるよう、相談体制を強化するとともに、一人ひとりに合った適切な福祉サービスの提供や、地域生活支援拠点等の整備をすすめます。

また、地域における自立と社会参加の実現に向けて、市民一人ひとりが相互に尊重し支え合い、障害のある人もない人もともに安心して暮らせるよう地域共生社会の実現に向けたまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
104	○	精神障害者医療費助成事業	福祉支援課	28,900	31,396	37,406	35,444			高い	A
		3 1 2									
		事業の取組内容	精神障害（児）者の医療費の一部を助成し、疾病の早期治療及び発病の予防を促進する								
116	○	地域生活支援事業	福祉支援課	97,393	101,019	109,988	128,887			やや高い	B
		3 1 2									
		事業の取組内容	障害者等の総合的な相談業務、権利擁護、日常生活用具の給付、障害福祉サービス（訪問入浴、日中一時支援等）の給付等の事業								
129	○	高齢者生活支援事業	介護福祉課	73,136	56,302	40,107	90,759			やや高い	B
		3 1 4									
		事業の取組内容	軽度生活支援、食の自立支援、外出支援サービス、緊急通報体制整備等を行う								
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位	
1	自立し安心して生活できる環境の整備施策の満足度 障害者計画住民意識調査より (R1, R4, R7実施)	40.2 (R1調査)	目標値	—	—	—	—	50	50	%
			実績値	—	—	—	—			
			達成率	%	%	%	%	%		
2	就労支援により就労した人の数 (生活保護受給者＋生活困難者)	3	目標値	4	4	4	5	5	5	人／年
			実績値	4	1	4				
			達成率	100.0%	25.0%	100.0%	%	%		
3	就労継続支援事業所における平均月額工賃（B型）	21,118 (R1調査)	目標値	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000	23,000	円
			実績値	19,397	20,817	25,613				
			達成率	102.0%	104.0%	121.9%	%	%		
4	障害に対する周囲の人の理解が進んでいると思う人の割合 障害者計画住民意識調査より (R1, R4, R7実施)	20.2 (R1調査)	目標値	—	—	—	—	40	40	%
			実績値	—	16.8	—	—			
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)			R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
			目標値	実績値	実績	実績	実績	実績	実績		
104	申請者に対して助成金を支払った件数	1,419	目標値		1,400	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	件/年
			実績値		1,406	1,425	1,505				
116	一般相談及び基本相談利用実人数	431	目標値		420	420	420	420	420	420	人/年
			実績値		473	504	618				
116	相談支援専門員新規養成者数	1	目標値		2	2	2	2	2	2	人/年
			実績値		1	0	0				
116	障害があることで差別や嫌な思いをした割合	-	目標値		-	30	-	-	30	30	%
			実績値		-	38	-				
116	障害者への理解を深めるための研修会 理解度	100	目標値		80	80	80	80	80	80	%
			実績値		100	100	100				
129	軽度生活支援事業(除雪援助及び生活援助)の利用世帯数	550	目標値		550	560	582	582	582	582	世帯
			実績値		550	582	399				
129	外出支援サービス事業の利用者数	335	目標値		335	362	371	371	371	371	人/年
			実績値		362	371	363				
129	食の自立支援事業の利用者数	194	目標値		194	226	255	255	255	255	人/年
			実績値		226	255	236				
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								
			目標値								
			実績値								

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

精神科の治療は、長期間にわたる場合が多いため、医療費助成による治療の継続と早期治療を促すことで、障害者の自立支援と社会生活の継続を支援することができたと考えます。

障害者基幹相談支援センターが開設され、地域の相談支援体制の整備と障害者の相談窓口が増え、支援につなげやすい体制になったと考えます。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	障害者基幹相談支援センターを設置したことで、障害者の相談窓口が増え、そして、地域生活支援拠点の登録を進めることができ、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	障害者の日常生活の支援を実施することにより、地域共生社会の実現に協力することができたので「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	<p>障害者サービスや支援の構築を図ることは進んできていますがそれを支える人材が不足し、人材確保対策が課題となっています。障害のある方への支援方法と理解を広めていきます。</p> <p>障害のある方の高齢化が進み、障害福祉サービスから介護保険サービスへの移行が、課題となっています。基幹相談支援センターが中心となり、関係機関と情報共有し、連携を深める協力連携体制を強化します。</p> <p>令和6年度から、成年後見制度の中核機関として「魚沼市権利擁護サポートセンター」を魚沼市社会福祉協議会内に設置するとともに、運営協議会を立ち上げ、障害のある方への権利擁護支援について関係機関と連携を図るとともに、暮らしやすいまちづくりを進めます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）	S D G 連 結	
------	----	----	--------	-----------------------	--

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	産業経済部 都市整備課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	3項 市民が安心して暮らせる仕組みの構築		生活環境課	建設課
施策名	2号 安心して暮らせる公共空間の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

障害の有無にかかわらず、市民の誰もが安全で快適に暮らすことができる地域社会を実現するため、公共建物のバリアフリー化、交通機関や道路のユニバーサルデザイン化をすすめることにより、全ての人にやさしいまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
39	○	公共交通総合連携事業		114,124	115,054	116,953	163,289			やや高い	B
		2 1 6	生活環境課								
		事業の取組内容		路線バス及び乗合タクシー運行事業者へ補助金を交付する。							
314		市道整備事業		216,231	193,247	332,632	282,201			やや高い	B
		8 2 2	建設課								
		事業の取組内容		幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワーク強化、道路機能の向上促進等を行う。							
329		都市計画策定事業		0	5,687	7,819	6,878			やや高い	B
		8 4 1	都市整備課								
		事業の取組内容		都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直し及び策定を行うとともに、計画に沿ったコンパクトなまちづくりを推進する。							
342		公営住宅整備事業		6,582	14,383	3,783	93,667			やや高い	A
		8 5 1	都市整備課								
		事業の取組内容		建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	外出時に不都合や不安を感じている人の割合【段差等】 障害者計画住民意識調査より (R1, R4, R7実施)	22.4 (R1調査)	目標値	—	—	—	—	20以下	20以下	%
			実績値	—	21.0	—	—			
			達成率	%	%	%	%	%		
2	外出時に不都合や不安を感じている人の割合【経費等】 障害者計画住民意識調査より (R1, R4, R7実施)	17.7 (R1調査)	目標値	—	—	—	—	15以下	15以下	%
			実績値	—	21.8	—	—			
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
39	住民1人あたりの乗合タクシー等利用回数	0.79	目標値	0.85	0.88	0.91	0.94	0.97	0.97	%
			実績値	0.79	0.78	0.76				
314	市道整備工事実施路線数		目標値	11	21	29	36	43	43	路線
			実績値	9	19	27				
314	市道整備測量設計実施件数		目標値	9	17	20	33	34	34	路線
			実績値	8	14	18				
329	立地適正化計画改定の進捗率		目標値		50	100			100	%
			実績値		50	100				
342	公営住宅解体棟数		目標値	3	6	0	2	2	2	棟
			実績値	3	6	0				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

運転免許証自主返納者に対し乗合タクシー等共通回数券を交付することにより、自主返納を促進し、特に高齢者等に起因する交通事故の未然防止を図るとともに、公共交通機関の利用を促進しています。＜令和5年度共通回数券交付申請者：206人（前年度161人）＞

- 令和5年3月31日 路線バス 小出ー小千谷線、小出ー栃尾又線、小出ー六日町線 休止届提出
- 令和5年6月1日 上記3路線の休止届取下げ（いずれも事業者）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

路線バスや乗合タクシーの運行など公共交通体系の確保・維持を図ることで高齢者を中心とした通院や買物など交通弱者の移動手段を確保できたほか、交通事業者の分野を超えた取組により湯之谷及び守門地域において令和6年度に向けた地域交通網の再構築を図ることができました。

歩道整備と市道改良を行うことで道路のユニバーサルデザイン化が進み、市民の安全な歩行空間が増え、また、市営住宅の計画的な集約により入居者の住替えが進み、市街地への居住誘導を図ることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	歩道整備や道路改良による段差等の解消が進んだこと、また、路線バスと乗合タクシーの運行費を助成することにより自家用車に頼らない交通手段の維持を図ることができたことから「やや高い」と判断しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	道路改良や公共交通の維持を図り公共交通空白地を解消し高齢者等交通弱者の移動手段を確保することで安心して暮らせるまちづくりに寄与できたため「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改善はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>公共交通に関しては、人口減少や少子高齢化、乗合タクシーの毎日の運行や市外への運行など、高まる移動ニーズの多様化に加え、交通事業者の人材確保が大きな課題となっています。また、公共施設等の老朽化改修と同時に、公共建築物のバリアフリー化及び道路改良時におけるユニバーサルデザイン化についても優先して進める必要があります。</p> <p>都市計画マスタープラン及びコンパクトなまちづくりの実現に向けて、都市拠点と地域拠点への居住誘導や都市施設の集約、拠点を結ぶ地域交通の維持に引き続き取り組み、安全で快適に暮らすことができる地域の実現に努めていきます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改善はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 s			
-----------------------	--	--	--

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 介護福祉課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	4項 高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築			
施策名	1号 暮らしの支援体制の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

住み慣れた地域の中で、高齢者が安心して自分らしい生活を送ることができ、また、介護者の負担も軽減できるようにするため、地域資源を活用した地域ネットワークの整備をすすめ、住まい、医療、介護、予防、生活支援サービスが切れ目なく提供されるよう「地域包括ケアシステム」を推進し、在宅医療と介護の連携強化を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
127	○	介護人材確保支援事業		882	46,503	59,145	86,183			やや高い	A
		3 1 3 介護福祉課									
		事業の取組内容	介護分野を支える人材育成マネジメントの支援を行う。								
129	○	高齢者生活支援事業		73,136	56,302	40,107	90,759			やや高い	B
		3 1 4 介護福祉課									
		事業の取組内容	軽度生活支援、食の自立支援、外出支援サービス、緊急通報体制整備等を行う。								
130	○	生きがい活動支援通所事業		22,271	19,760	20,662	26,111			やや高い	B
		3 1 4 介護福祉課									
		事業の取組内容	人との交流や日常動作訓練などを通じて、高齢者の生きがい活動と社会参加を促進し、要介護状態になることを予防する。								
介4	○	認知症総合支援事業		16,500	16,900	17,200	17,200			やや高い	B
		3 3 1 介護福祉課									
		事業の取組内容	認知症理解のための普及・啓発活動及び発症予防の推進、早期診断・早期対応のための体制整備を行う。								
介5	○	在宅医療・介護連携推進事業		9,000	9,465	9,400	9,500			高い	C
		3 3 1 介護福祉課									
		事業の取組内容	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように在宅医療と介護とを一体的に提供するための連携を図る。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	No.	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
1	地域で高齢者に関するボランティア活動に参加したい人の割合 魚沼市地域福祉推進計画策定時のアンケート調査	15.3 (R1調査)	目標値	—	45	—	—	45	45	%
			実績値	—	19.3	—	—	—		
			達成率	%	42.8%	%	%	%		
2	介護予防事業参加者の割合 第1号被保険者のうち、介護予防事業（若トレ等）参加者の割合	6.6 (R1調査)	目標値	8	8.5	9	9.5	10	10	%
			実績値	5.8	4.8	4.8	—	—		
			達成率	72.5%	56.5%	53.3%	%	%		
3	要介護認定者の割合 介護保険事業状況報告（3月末の第1号被保険者の認定者の割合）	19.0 (R1実績)	目標値	20未満	20未満	20未満	20未満	20未満	20未満	%
			実績値	18.7	18.3	18.2	—	—		
			達成率	106.0%	108.0%	109.0%	%	%		

No.	成果指標名	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
4	市で実施する介護に関する 入門的研修修了者数	24 (R1現在)	目標値	34	38	42	46	50	50	人
	実績値		36	43	50					
	達成率		105.9%	113.1%	119.0%	%	%			
	研修修了者数									

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
介5	検討会議開催数（事例検討 含む。）	5	目標値	10	10	10	10	10	10	回/年
			実績値	7	16	18				
介5	各講座の受講者数	1,252	目標値	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600	人/年
			実績値	1,778	1,756	487				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

高齢者が安心して生き生きと暮らせるまちづくりをめざし、軽度生活支援、食の自立支援等様々な高齢者生活支援や、介護予防のため生きがい活動支援、若トレ等を実施し、第1号被保険者の認定者の割合が目標を達成するなど、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らせる体制の整備づくりに寄与しました。また、生活習慣や価値観の変化により、高齢者の抱える問題やニーズは多様化していますが、関係機関と連携し、3か所に設置した地域包括支援センターを中心に必要な支援を実施するなど、医療、介護、介護予防等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進に寄与しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと自分らしい暮らしを実現するには、健康の維持と介護予防が重要であり、それらの取組の成果により要介護の認定者の割合が目標を達成したと判断したため、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	「地域包括ケアシステム」の推進や在宅医療と介護の連携強化のためには、事務事業の構成は妥当と判断したため、「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>本市において、総人口が減少しているなか、少子高齢化が進行しており、認知症の人や一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人はますます増加することが懸念されるとともに、介護の担い手不足といった問題も一層深刻化していくことが見込まれます。</p> <p>高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、住まい、医療、介護、介護予防及び日常生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を構築・深化しながら、中長期的な視野に立ち、「高齢者等が安心して生き生きと暮らせるまちづくり」の実現に向け、各種取組を進めていく必要があります。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	
------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 介護福祉課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名	
主要施策	4項 高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	関係 課	生涯学習課	
施策名	2号 高齢者の社会参加の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

価値観が多様化する中で、高齢者が社会の重要な一員として、これまで培ってきた高い技術や知識を活かし、生きがいを持って活躍できる場や生涯学習の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
120		シルバー人材センター助成事業		10,300	10,300	10,300	10,300			やや高い	B
		3 1 3	介護福祉課								
		事業の取組内容		魚沼市シルバー人材センターの活動支援を行う。							
124		老人クラブ助成事業		9,860	9,610	9,440	9,840			やや高い	B
		3 1 3	介護福祉課								
		事業の取組内容		魚沼市老人クラブ連合会の活動支援を行う。							
444	○	地区公民館講座教室事業		654	1,302	1,600	2,620			やや高い	C
		10 4 2	生涯学習課								
		事業の取組内容		各種公民館講座教室、講演会等を開催する。							
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 R4 R5 R6 R7					最終 目標値	単位
			実績	実績	実績	実績	実績		
1	地域活動に参加している高齢者の割合 高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時実施の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	21.7 (R2調査)	目標値	—	25	—	—	40	%
			実績値	—	24.6				
			達成率	%	98.4%	%	%	%	
2	シルバー人材センター会員数	506 (R1実績)	目標値	510	520	530	540	550	人
			実績値	463	462	396			
			達成率	90.7%	88.8%	74.7%	%	%	
3			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%	%	
4			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%	%	

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
120	シルバー人材センター受注額	175	目標値	173	188	191	194	197	-	百万円
			実績値	169	153	155				
124	単位老人クラブ加入者数	4,220	目標値	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	人
			実績値	4,063	3,729	3,432				
444	講座教室の参加率(参加人数/募集定員)*100	72	目標値	80	85	90	95	100	100	%
			実績値	61	76	71				
444	参加者の満足度(満足/回答者)*100※アンケート	88	目標値	90	92	95	98	100	100	%
			実績値	94	63	63				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

シルバー人材センター助成事業では、定年年齢の引き上げや継続雇用など、社会情勢の変化に伴い、会員数が減少した一方で、受注額は、1会員1仕事開拓運動などに取り組み、対前年度比で1.2%増となりました。シルバー人材センターを通して行う各種事業は、高齢者の就労支援と社会参加の推進に寄与しています。

老人クラブ助成事業では、老人クラブの加入者数が前年度から減少となっていますが、高齢者の趣味の多様化、雇用年齢の引上げなどの昨今の社会情勢の中において、各単位老人クラブが実施する健康づくりやボランティア活動は高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進に寄与しています。


8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	シルバー人材センターの受注額は前年度から微増しており、各種事業に意欲的に参加する高齢者は多く、また地域においては「身近な頼れる存在」として高いニーズがあることから「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	シルバー人材センターの幅広い分野の事業や老人クラブの各種活動によって、多くの高齢者が社会参加、就労支援、生きがいつくりの場に参加できる環境づくりができていることから「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>シルバー人材センター、老人クラブともに社会情勢の変化や趣味の多様化などにより、入会者の確保が課題となっています。</p> <p>シルバー人材センターは、コロナ禍の規制も緩和されたことから、更なる就業機会の確保とともに幅広いニーズに応えられるよう、研修会を開催するなど会員のスキルアップに積極的に取り組んでおり、高齢者の就労支援と社会参加の推進に果たす役割は非常に大きいことから、引き続き助成を実施していきます。</p> <p>老人クラブの加入者数は減少傾向にありますが、高齢者の健康づくりやボランティア活動に参加することで、人とのつながりができ、生きがいつくりにも寄与していますので、引き続き助成を実施していきます。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）	S D G S	
------	----	----	--------	------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 健康増進課	
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり		担当課長名		
主要施策	5項 誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	関係 課			
施策名	1号 健康管理システムの充実				

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が地域で安心して暮らし続けられ、初期医療から高度医療まで、地域内で対応できるよう魚沼基幹病院及び市内診療所との連携の強化を図ります。
医療機関等がそれぞれの役割を分担するなかで、病院、診療所及び在宅医療・在宅介護に関わる職種間での連携や患者情報を共有し、必要な医療及び介護へスムーズにつなげるため「うおぬま・米ねっと」の加入促進を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
189	○	地域医療対策事業		355	15,407	92,353	29,410			高い	B
		4 1 1	健康増進課								
		事業の取組内容		病院、診療所及び在宅での情報共有の促進と地域の医療資源の充実を図る。							
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
			実績	実績	実績	実績	実績			
1	基幹病院を含めた市内医療提供体制の満足度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	44.0 (R1調査)	目標値	—	—	75	—	—	75	%
			実績値	—	—	47.4	—	—		
			達成率	%	%	63.2%	%	%		
2	うおぬま・米ねっと加入率 魚沼の総人口に対する、うおぬま・米ねっと加入者の割合	27.0 (R1末)	目標値	30	35	40	45	60	60	%
			実績値	37	40	44				
			達成率	123.3%	114.2%	110.0%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
	指標の説明									
189	市立小出病院の常勤医師数	9	目標値	9	9	9	9	9	9	人
			実績値	9	10	10				
189	医師等修学資金貸与者数	7	目標値	6	6	6	6	6	6	人/年
			実績値	7	3	1				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

新潟県と連携して実施する医師養成修学資金の地域枠制度に選定され、新潟県及び帝京大学と三者協定を締結しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

「うおぬま・米ねっと」については、医療機関と介護施設との連携が可能となっており、介護サービス利用者の加入が増えたことにより加入率が伸びました。これによって医療と介護の職種間での連携や患者情報のスムーズな共有が図れています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	医療、介護の連携が進み、加入率が目標を達成していることから「高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	「うおぬま・米ねっと」の活用で医療、介護の連携が進んでいること、また地域完結型医療の推進により、市内診療所、小出病院、魚沼基幹病院との連携強化が図られており、「高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改善はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>「うおぬま・米ねっと」に関しては、今後在宅医療や在宅介護の需要が高まることが予想され、医療と介護の情報共有が一層重要となります。そのため、加入促進への取組が課題です。</p> <p>地域完結型医療の実現に向け、医療機能の分化・連携が進められている中、今後、在宅医療の需要が増えることが予測されることから、医療、介護の連携をさらに進め、地域包括ケアシステムの実現に向けた医療体制の整備が必要です。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな改善はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	
-----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉		部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	評価 担当 課	担当課長名	
主要施策	5項 誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実		関係課	介護福祉課
施策名	2号 医療資源の育成			

2. 施策目的（目指すすがた）

医師・看護師などの地域内に不足する医療資源を充実させるため、修学資金の貸与事業を継続するほか、小出病院地域医療教育・研修センター、地域医療魚沼学校と連携し医療従事者の育成に取り組みます。
医療及び介護サービス資源の把握や課題等を共有し、住み慣れた地域で生活できる在宅医療・介護の連携の取組を進めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
189	○	地域医療対策事業		355	15,407	92,353	29,410			高い	B
		4 1 1	健康増進課								
		事業の取組内容		病院、診療所及び在宅での情報共有の促進と地域の医療資源の充実を図る。							
介5	○	在宅医療・介護連携推進事業		9,000	9,465	9,400	9,500			高い	C
		3 3 1	介護福祉課								
		事業の取組内容		高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように在宅医療と介護とを一体的に提供するための連携を図る。							
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3					R7					最終 目標値	単位
			実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績			
1	家庭で血圧を測っている人の割合 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	34.7 (R1調査)	目標値	—	—	—	40	—	40	%				
			実績値	—	—	—	—	—						
			達成率	%	%	%	%	%						
2	かかりつけ医がある人の割合 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	61.9 (R1調査)	目標値	—	—	—	80	—	80	%				
			実績値	—	—	—	—	—						
			達成率	%	%	%	%	%						
3	市立小出病院の常勤医師人数	9 (R1現在)	目標値	9	9	9	9	9	9	人				
			実績値	9	10	10								
			達成率	100.0%	111.1%	111.1%	%	%						
4			目標値											
			実績値											
			達成率	%	%	%	%	%						

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	最終目標値	単位
	指標の説明									
189	うおぬま・米ねっと加入率	32	目標値	30	35	40	45	60	60	人
			実績値	37	40	44				
189	医師等修学資金貸与者数	7	目標値	6	6	6	6	6	6	人/年
			実績値	7	3	1				
介5	検討会議開催数（事例検討含む。）	5	目標値	10	10	10	10	10	10	回/年
			実績値	7	16	18				
介5	各講座の受講者数	1,252	目標値	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600	人/年
			実績値	1,778	1,756	487				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

新潟県と連携して実施する医師養成修学資金の地域枠制度に選定され、新潟県及び帝京大学と三者協定を締結しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

在宅医療と介護を一体的に提供するために、ワーキングチームによる課題の抽出と対応策についての検討をし、医療機関・介護事業所等の多職種連携研修や事例検討会で関係者間の情報共有を図りました。また、令和4年度に発行した「わたしの想いノート」の普及啓発に向け、講演会や出前講座を開催し、市民への普及啓発に努めました。医師等修学資金貸与者数については目標を達成することができませんでしたが、一定程度の実績もあり、医師・看護師が不足している本市において、修学資金の貸与は医療資源の確保を図るための有効な手段の一つであり、未来の医療人材の確保に向けて前進しています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	多職種連携研修や、講演会、講座を開催し、市民への普及啓発に努め、また、小出病院の常勤医師の目標数を達成することができたことから「高い」と評価しました。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	限られた人材や医療資源のなかで、医療と介護の連携を図り、効率的にサービスを提供できるよう取り組んでおり施策に貢献しています。また将来のための医療人材の確保及び育成は地域医療の継続につながることから施策に貢献しているため「高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
		目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>医療機関及び介護施設の関係機関との連携は取れてきていますが、市民への普及啓発が不足しています。また、看護師確保においては、修学資金の貸与者が市内医療機関へ就職しており、一定数の人材確保に貢献していますが、修学資金制度は、退学や進路変更、就職後の離職がみられることから、働く者にとって魅力ある病院づくりのため、魚沼市医療公社と連携した取組が課題です。</p> <p>今後さらに高齢化が進み、在宅医療の需要が増加することが予想されることから、小出病院を拠点とした地域包括ケアシステムの構築に向けて、多職種連携は継続して取り組む必要があります。「人生の最終段階の過ごし方」について「わたしの想いノート」を活用しながらACPの普及啓発を推進する必要があります。また医療資源を充実するために医療人材の確保を継続するほか、ICTの活用も積極的に取り組む必要があります。</p>				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
		目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	2	3	6	11	12	14	15
-----------------------	---	---	---	----	----	----	----

1. 基本情報

施策分野	産業	評価担当課	部課名	産業経済部 農政課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	関係課	担当課長名	
主要施策	1項 地域資源の活用による産業の振興		地域創生課	企画政策課
施策名	1号 新たな特産品づくり、ブランド化の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

本市には魚沼産コシヒカリや山菜をはじめとした豊かな農林水産物や魅力ある食文化があります。これらの地域資源を活用した新たな特産品づくりをすすめ、食のまちづくりの推進により魚沼ブランドの積極的な情報発信や高付加価値化を図り、販路の開拓及び拡大に取り組みます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
46	○	ふるさと結基金事業		1,439,761	1,521,384	1,557,042	1,351,001			高い	A
		2 1 6	地域創生課								
		事業の取組内容		ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をPRする。							
210	○	食でつながる元気なまちづくり推進事業		2,891	3,754	3,286	3,620			やや高い	B
		2 1 6	企画政策課								
		事業の取組内容		「食」の課題に連携して取り組み、市民の健康づくりと産業の向上を目指す。							
245	○	農産物ブランド力強化事業		5,609	13,143	12,968	16,617			高い	C
		6 1 3	農政課								
		事業の取組内容		地産地消の啓発、魚沼ブランド推奨品の普及、6次産業化支援、販路拡大支援を行う。							
522	○	インターチェンジ名称変更事業		0	1,626	2,388	349,403			やや高い	A
		2 1 6	企画政策課								
		事業の取組内容		交流人口の拡大、産業振興、利便性の向上及び市民の一体感の醸成のため、インターチェンジの名称変更に取り組む							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位	
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績			
1	魚沼ブランド推奨品の数		57 (R1末)	目標値	60	60	65	65	70	70	品
				実績値	68	72	74				
				達成率	113.3%	120.0%	113.8%	%	%		
2	市内直売所年間販売額		215,809 (R1実績)	目標値	216,000	217,000	218,000	219,000	220,000	220,000	千円/年
				実績値	210,987	195,168	190,342				
				達成率	97.6%	89.9%	87.3%	%	%		
3	ふるさと納税額		2,100,000 (R1実績)	目標値	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,500,000	千円/年
				実績値	2,806,187	2,822,493	2,804,008				
				達成率	133.6%	128.2%	121.9%	%	%		
4				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
46	ふるさと納税寄附件数	126,317	目標値	120,000	123,000	126,000	130,000	134,000	134,000	件
			実績値	137,900	131,884	122,887				
46	ふるさと納税寄附金額	2,465,259	目標値	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,500,000	千円
			実績値	2,806,187	2,822,493	2,804,008				
210	食まちうおぬまネットワーク推進協議会の開催数	3	目標値	2	-	-	-	-	10	回
			実績値	0	-	-	-	-		
210	食まちイベント参加人数	210	目標値	1,000	4,000	5,000	5,500	6,000	6,000	人/年
			実績値	940	5,000	4,800				
245	魚沼ブランド登録商品販売額向上割合	なし	目標値	5	7	55	55	55	55	%
			実績値	3.9	54	34				
245	市内直売所年間販売額	222,954	目標値	216,000	217,000	218,000	219,000	220,000	220,000	千円
			実績値	210,987	195,168	190,342				
522	年間観光入込客数	958	目標値	1,650	1,675	1,700	1,725	1,750	1,750	千人
			実績値	1,174	1,551	1,691				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和6年秋に閑越自動車道小出インターチェンジの名称が魚沼インターチェンジに変更することが決定しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

県内外の販売会イベントやブランド農産物のトップセールスの実施にあたり、生産者や関係機関との協働により、魚沼市産のブランド力の高さを効果的にPRし、認知度向上に繋げることができました。特にトップセールスを実施したユリや促成山菜は、全国の主要市場から高い評価をいただき、平均販売単価において前年度実績を上回り、ブランド力の向上に繋がっています。

また、ふるさと納税についても、10月に返礼品に関するルール改正による厳しい状況の中、コシヒカリをはじめ本市の特産品等多くを返礼品として選んでいただき、前年度並みの寄附額を確保することができました。

令和6年秋に魚沼インターチェンジへの名称変更が決定し、市制施行20周年に向けた市民協働による盛り上がりの機運が醸成されつつあります。

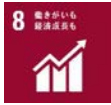

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	直売所年間販売額は、目標に届きませんでした。が、ブランド推奨品数は前年実績を上回り、ふるさと納税額も前年並みの実績により目標を上回る成果を達成しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	本市特産品のPRを生産者や関係機関等と一体で取り組み、新たな特産品づくりや、豊かな農林水産物等の販路拡大、ブランド力向上から、本市の魅力発信へと繋げており、各事業が成果を発揮し、貢献していると言えます。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	<p>本市の特産品のPRや魅力発信等において、関係機関や生産者等と一丸となった取組が進みつつあります。更に市制施行20周年を契機に、魚沼インターチェンジから多くの人を呼び込み、交流人口の拡大、本市経済の発展に向けて、市民も含めた盛り上がりの機運を各事業等を通じて醸成していきます。</p> <p>また大都市等において、本市のブランド農産物をはじめ、令和4年度からスタートした魚沼市プレミアム認定品等の特産品のPRや広告宣伝の強化を図り、ふるさと納税寄附額の増加と販路開拓・拡大を図ります。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し		
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）	S D G 連 s	 
------	----	----	--------	-----------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	1項 地域資源の活用による産業の振興		農林整備課	
施策名	2号 新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域の豊富な食材、森林資源、雪や水などの資源を活用した新製品の開発や新技術の確立、新分野への進出や新産業の創出に向けた企業の取組を支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
276	○	魚沼市産材活用促進事業		15,240	16,055	12,908	15,528			やや高い	B
		6 2 2 農林整備課		事業の取組内容 地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。							
288	○	地域産業活性化事業		4,860	5,086	10,127	15,034			やや高い	C
		7 1 2 商工課		事業の取組内容 産業技術支援、販路拡大のための補助金、魚沼ものづくり振興協議会への補助金等の交付を行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3~R7実績					最終 目標値	単位	
			R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績			
1	新製品の開発支援事業による事業化件数	5 (H28~R1累計)	目標値	2	4	6	8	10	10 (R3~R7累計)	件
			実績値	2	2	3				
			達成率	100.0%	50.0%	50.0%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	㎡/年
			実績値	168	152	130				
276	市産材活用製品開発数	-	目標値	-	-	21	30	40	40	個
			実績値	-	-	18				
288	新製品の開発支援事業による事業化件数	-	目標値	1	2	3	4	5	5	件
			実績値	1	1	2				
288	支援事業の商談成立件数	3	目標値	50	50	50	50	50	50	件/年
			実績値	22	8	20				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度より、成果指標に「市産材活用製品開発数」を追加しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市木製品総合カタログの制作に伴い、森林資源を活用した製品の開発や販路開拓を支援することができました。
また、IoT技術を活用した新たな製品の開発を支援することで、新分野への進出や新産業の創出に寄与しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	目標値に到達しなかったが、新製品開発や新技術の確立、地域資源の活用に取り組む気運の醸成を図ったことで事業化や製品開発に結びついた案件もあったことから、「やや高い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	新製品開発や新技術の確立は企業にとって容易ではないものの、目標達成に向けて企業の主体的な取組を支援することが重要なことから、貢献度は「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>新製品・新技術開発支援や販路拡大の支援は、市内事業者の競争力強化に有効であるものの、市内の多くの製造業者の大部分は下請けということもあり、新たな事業展開が活発とはいえない状況です。今後、提案型企業が育つような環境づくりをどのように展開していくのが課題です。</p> <p>地域産業の活性化を図るため、補助制度の活用促進や商品開発支援、地域資源の活用支援を今後も進めながら、企業の考え、現状、ニーズなどの把握を強化した上で、企業、企業団体、商工会や包括連携協定を締結している大学などとも課題を共有し、異業種連携や産学官連携などに前向きに取り組んでいく必要があります。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	指標の達成状況により判断し、「やや低い」と評価しました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○
課題及び今後の方向性	<p>一次評価に加え、企業が新製品の開発へ意欲を示すような取組や企業の成長を促すような支援を行うこと。</p>			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 s	2 豊かさを せむに	4 質の高い暮らしを みんなに	8 働きがいも 環境配慮も	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナシップで 目標を達成しよう
-----------------------	---------------	--------------------	------------------	-------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業					部課名	産業経済部 農政課			
基本目標	4節	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり				評価担当課	担当課長名			
主要施策	2項	魅力ある農林業の振興				関係課	農林整備課		学校教育課	
施策名	1号	力強い農業経営の構築と地域農業の活性化								

2. 施策目的（目指すすがた）

生産基盤の整備や担い手への農地集積をすすめ、生産性の向上や担い手の育成により、持続可能で力強い農業経営の構築を推進します。

農産物の品質向上と生産拡大をすすめ、6次産業化、農商工連携、ブランド化により商品開発や販売活動を支援し、地域農業の活性化と農業者の所得向上を図ります。

農村環境と調和した農業生産と食の安全性向上の取組をすすめ、安心安全な農産物の生産と地産地消の取組を推進します。

新たな就農・就業者が、地域で培った技術や経営資産を円滑に事業継承が行えるように、受入体制や経営開始時の負担軽減の支援を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価		
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度	
241		農林水産業総合振興事業		7,624	972	-	-					
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	県の事業認定を経て単独事業を実施する団体へ間接的に県補助金を交付する。（令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合）									
243		中山間地域等直接支払交付金事業		193,273	192,905	191,789	194,905				高い	A
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	耕作条件の劣る中山間地域の営農活動の維持全般に対して財政支援等を行う。									
244	○	生産調整対策事業		58,033	56,379	59,143	72,855				高い	B
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	米の生産調整や経営所得安定対策を実施・推進する。									
247		多面的機能支払交付金事業		180,342	178,349	178,438	186,471				高い	B
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	地域共同による農村環境の保全向上の取組を支援する。									
248	○	人・農地プラン事業		34,060	17,850	22,834	19,293				高い	A
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	農地中間管理機構による担い手への農地集積と集約化を支援する。									
250		経営体育成支援事業		3,128	0	-	-					
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	人・農地プランに位置づけられた中心経営体の農業用機械等の導入に対し補助を行う。（令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合）									
251	○	農業者育成支援事業		14,329	32,977	42,680	63,129				やや高い	A
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	国県補助事業を利用して施設整備を行う農業者等に上乗せ補助を行う。									
254	○	新規就農者援助事業		1,200	1,200	-	-					
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	新規就農者に補助金を交付し経営が軌道に乗るまでの間を支援する。（令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合）									
255		地域バイオマス施設整備事業		0	36,866	2,310	55,336				やや高い	B
		6 1 3	農政課									
		事業の取組内容	有機センターの施設改修や車両更新等を行う。※R5で総合計画計上終了									
259	○	農地農業施設整備事業		87,407	31,501	39,302	70,846				やや高い	B
		6 1 5	農林整備課									
		事業の取組内容	農業用施設の整備により生産コストの縮減を図り、持続可能で力強い農業経営の構築を推進する。									

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価			
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度		
482		学校給食支援事業		3,769	3,878	3,498	3,711			やや高い	A		
		10	6									1	学校教育課
		事業の取組内容										小中学校の全児童・生徒に魚沼産コシヒカリの給食を提供する。	

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3～R7					最終目標値	単位	
			R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績			
1	農業担い手数 認定農業者、認定新規就農者	362 (R1末)	目標値	360	360	360	360	360	360	経営体
			実績値	326	308	290				
			達成率	90.5%	85.5%	80.6%	%	%		
2	担い手への農地利用集積面積 農地中間管理機構を通じて担い手へ集積した面積	2,404 (R1末)	目標値	2,700	2,750	2,800	2,850	2,900	2,900	ha
			実績値	2,608	2,608	2,655				
			達成率	96.5%	94.8%	94.8%	%	%		
3	新規就農者数 新規就農者実態調査に計上される人数	34 (H28～R1累計)	目標値	42	49	56	63	70	70 (H28～R7累計)	人
			実績値	53	62	70				
			達成率	126.1%	126.5%	125.0%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値 (R2)	R3～R7					最終目標値	単位	
			R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績			
243	中山間地域等直接支払交付金事業取組面積	982	目標値	982	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	ha
			実績値	1,001	999	1,004				
247	多面的機能支払交付金事業取組面積	2,553	目標値	2,551	2,551	2,551	2,551	2,551	2,551	ha
			実績値	2,553	2,544	2,542				
251	農業機械等導入経費補助件数	6	目標値	5	5	5	5	5	5	件
			実績値	6	1	3				
251	新規就農者研修支援	0	目標値	1	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	0				
253	環境保全に資する農業取組面積	5,687	目標値	6,000	6,000	7,700	7,700	7,700	7,700	a
			実績値	5,687	7,041	8,297				
255	原材料受入量（家畜排泄物、エノキ腐菌床、おから他）	5,647	目標値	6,000	6,000	6,000	6,500	7,000	7,000	t
			実績値	5,317	5,798	5,715				
255	堆肥販売量（田、畑（水稻、花き、野菜）、家庭菜園他）	1,903	目標値	2,300	2,300	2,300	2,900	3,150	3,150	t
			実績値	1,975	2,112	2,342				
259	県単農業農村整備事業の事業実施箇所	1	目標値	3	2	1	1	1	1	箇所/年
			実績値	8	2	0				
259	小規模農地基盤整備事業実施における受益面積	2	目標値	2	2	2	2	2	2	ha/年
			実績値	1.7	2.0	3.6				
482	(参考) コシヒカリ提供数量	31,436	目標値	-	-	-	-	-	-	kg
			実績値	32,142	30,437	28,544				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

--

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

交付金や補助金の活用により、農地の保全、農業用施設・機械等の整備、導入支援により農村環境の形成に繋がりました。また、就農して間もない農業者へ支援したことにより、経営基盤の安定に寄与し、新たな担い手の育成に繋がっています。
 また、市内小中学校の給食では魚沼産コシヒカリを使用することで地産地消の推進と郷土愛の醸成に取り組むことができました。なお、米飯給食のうち1回分を有機栽培米により提供し、児童・生徒から農業や環境への関心を持ってもらうことができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	認定農業者数、担い手への農地利用集積面積は目標に達しませんが新規就農者数が目標を大きく上回り、担い手への農地利用集積面積も前年実績を上回っていることから一定の成果があると判断し「やや高い」と評価しました。
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	本市の基幹産業である農業を将来に繋げていくために、新規就農者の確保や担い手が営農継続していくための条件整備が必要であり、力強い農業経営の構築と地域農業の活性化のため各事業は有効であることから「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	年々農家戸数が減少していく中で、担い手の育成が最重要課題と言えます。そのために引き続き、各事業を活用し生産基盤の整備や担い手育成と農地集積に向けた取組を進め、生産性の向上やブランド力向上から農業者の所得向上を図り、持続可能で力強い農業経営の構築と地域農業の活性化を図ります。また、各地域で活動しているそれぞれの農業経営体、営農組織などの支援拡充を図り魚沼市農業の維持発展に取り組みます。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	新規就農者の数が担い手の減少者の数に追いついていないこと、また、他産業との連携が少ないことから「やや低い」と判断しました。
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○
課題及び今後の方向性	今後の農地の保全生産性を確保していくうえで、地域計画を考慮した取組を進めていくこと。また、更なる地域経済の発展に向け、他産業との連携による販路拡大を目指し、取組を進めていくこと。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和5年度事業 施策評価シート

作成年度	R5	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結	6 気候変動と持続可能な開発目標	8 働きがいも経済成長も	15 気候変動にかなった産業と消費	17 パートナーシップで目標を達成しよう
-----------------------	---------------------	-----------------	----------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	2項 魅力ある農林業の振興			
施策名	2号 森林・里山を活用した地域の活性化			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域産業である林業の活性化と森林・里山の健全化をめざして、地元産木材の需要拡大と低質材の有効活用及び生産基盤の整備による生産コストの削減を図るとともに、人財の育成及び安定供給体制の整備により雇用の創出、所得の向上を図ります。
また、農林業体験と観光を融合し、交流人口の拡大に向けた取組を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	予算	予算		貢献度	達成度
268	○	林業振興事業		545	551	1,811	3,558			やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
事業の取組内容 森林保全の意識を醸成するとともに、林業振興に資する事業を実施する。											
270	○	森林整備事業		17,828	9,845	40,550	103,837			やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
事業の取組内容 市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。											
271	○	里山整備事業		22,081	21,579	-	-			/	/
		6 2 2	農林整備課								
事業の取組内容 里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。											
274	○	森林体験・環境学習事業		321	675	-	-			/	/
		6 2 2	農林整備課								
事業の取組内容 森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。											
276	○	魚沼市産材活用促進事業		15,240	16,055	12,908	15,528			やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
事業の取組内容 地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。											
277	○	魚沼市伝統技能継承支援事業		3,245	2,960	3,086	5,106			やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
事業の取組内容 炭焼き、紙すき、木工の技能の継承希望者に対し、就業に向けた支援を行う。											
280	○	林道整備事業		63,373	38,564	45,955	50,242			やや高い	B
		6 2 3	農林整備課								
事業の取組内容 林道改良・舗装工事、橋梁等の長寿命化により、林業の生産基盤を整備する。											

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名		現状値	R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位	
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績			
1	森林、里山整備新規従事者数の増加		59 (H28～R1累計)	目標値	64	68	72	76	80	80 (H28～R7累計)	人
				実績値	69	86	103				
				達成率	107.8%	126.4%	143.0%	%	%		
2				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		
3				目標値							
				実績値							
				達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業No.	成果指標名	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	最終目標値	単位
				実績	実績	実績	実績	実績		
268	「魚沼森林塾」参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人/年
			実績値	7	12	7				
268	新規インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人/年
			実績値	4	5	8				
270	市有林森林整備面積	14	目標値	10	10	10	10	10	10	ha/年
			実績値	12	8	11				
270	私有林森林整備面積	19	目標値	10	10	10	10	10	10	ha/年
			実績値	21	12	7				
270	未整備私有林整備面積	0	目標値	5	5	5	5	5	5	ha/年
			実績値	0	2	5				
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha/年
			実績値	41	52	54				
270	里山整備森林資源活用量	574	目標値	600	600	600	600	600	600	t/年
			実績値	1,472	616	744				
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	m3/年
			実績値	168	152	130				
276	市産材活用製品開発総数		目標値			21	30	40	40	個
			実績値			18				
277	技能継承希望者数(新規参入者数累計)	1	目標値	0	1	1	2	2	2	人
			実績値	0	0	0				
277	継承者定着数	0	目標値	3	3	4	4	5	5	人
			実績値	2	2	3				
277	イベント新規参加者数	33	目標値	16	16	16	16	16	16	人/年
			実績値	12	146	815				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から里山整備事業は森林整備事業に、森林体験・環境学習事業は林業振興事業に統合しました。
 令和5年度より、事務事業に関する活動指標及び成果指標に「市産材活用製品開発総数」を追加しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市有林は間伐等を実施し、私有林は事業体等と連携した間伐等を進めることができ、林業の活性化に貢献しました。里山整備事業により搬出された木材は、首都圏友好都市等の学校向けに炭焼き体験の材料として活用され、交流人口の拡大に寄与しました。
 魚沼市産材の家づくり事業補助金では8棟130m3の利用があり森林資源の利活用を推進しました。また、森林資源の新たな利活用として、市産材を活用した木製品を18種類・194個を開発・制作して、森林産業の活性化に繋げました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 林業従事者は減少しているが、里山整備の新規団体の取組により、成果指標の目標は上回っているため「やや高い」と評価しました。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 里山整備の木材が炭焼き体験の材料として活用され交流人口の拡大に寄与したほか、市産材の新たな利活用により森林産業の活性化に繋がっていることから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	<p>林業従事者が減少する中、森林整備を促進するためには、林業の担い手を確保していく必要があります。また、市産材の需要拡大を進め供給するためには、木材の有効利用と販路開拓を検討していく必要があります。</p> <p>今後も林業の担い手確保に向けた取組を継続しながら、計画的かつ効率的な森林整備を行い、森林・里山の健全化を目指していきます。また、市産材の需要拡大に向けて、木材の利活用を促進し、川上から川下まで流通の円滑化を図ります。</p>			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。			

